

STN INTERNATIONAL

リフレッシュセミナー

STN コマンド応用

目 次

A SELECT コマンド

概要	1
入力例	4
検索例 1 : REGISTRY ファイルでの SEL RN, SEL CHEM	6
参考: 化学物質情報からの文献検索	7
検索例 2 : WPINDEX ファイルでの SEL PN	8
検索例 3 : ReaxysFile ファイルでの SEL CN MF LSF	9
検索例 4 : SCISEARCH ファイルでの SEL CIT	10
検索例 5 : CAplus ファイルでの SEL RN	11
検索例 6 : MEDLINE ファイルでの SEL CT	12

B ANALYZE コマンド

概要	13
入力例	16
DISPLAY コマンド	18
DISPLAY コマンド 入力例	20
検索例 1 : WPINDEX ファイルでの ANA PN, IPC, PAX, PY.B	22
参考: TABULATE コマンド	27
STNext の解析機能	32
検索例 2 : CAplus ファイルでの ANA RN	35
参考: 二次的 SELECT	36
参考: 二次的 ANALYZE	38

C TRANSFER コマンド

概要	41
入力例	44
検索例 1 : REGISTRY ファイルから MEDLINE ファイルへの TRA CHEM	46
検索例 2 : CAplus ファイルから WPI ファイルへの TRA PN	48

APPENDIX

Excel でのグラフの作成方法	51
複数フィールドに対する二次的 SELECT/ANALYZE	54
システム制限に達した場合 (SELECT/ANALYZE コマンド)	56
システム制限に達した場合 (TRANSFER コマンド)	57

A SELECT コマンド

A SELECT コマンド

概要

■ STN で使える応用コマンド

コマンド	内容
<u>SELECT</u>	L 番号の中から目的の回答を「抽出」
<u>ANALYZE</u>	L 番号の中から目的の回答を「抽出・解析」  1 を強化したコマンド
<u>TRANSFER</u>	L 番号の中から目的の回答を「抽出・検索」  2 を強化したコマンド

■ SELECT コマンドは、回答の中から特定のフィールド（情報）を抽出し、抽出したタームに E 番号 を付与するコマンドである。

=> FILE CAPLUS

=> S (SOLID OXIDE (L) FUEL CELL OR SOFC) AND JP/PC
L1 1309 (SOLID OXIDE (L) FUEL CELL OR SOFC) AND JP/PC

=> SEL PA 1-3

↓

特許出願人
(PA)

=> SEL PN 1-3

↓

特許番号
(PN)

=> D SEL

E1 . . .
E2 . . .
E3 . . .

=> S E1-E3

L2 7 E1-E3

=> D SEL

E4 . . .
E5 . . .
E6 . . .

=> S E4-E6

L3 3 E4-E6

SELECT コマンドは、回答の中から特定の項目の情報を抽出し E 番号を付与する

 1
D SEL コマンドで、抽出した情報を無料で見ることができる

 2
E 番号は検索に使用できる



ポイント

SELECT コマンドを実行した後に、=> D SEL コマンドを入力すれば、目的の情報を表示できる。

キーワードの出現頻度順に番号が付与されるので、簡単な統計解析ができる。

抽出した各タームのそれぞれに E 番号がつくため、抽出したタームをそのまま検索に利用できる。

引用文献検索用の抽出フィールドも用意されており、簡単に引用文献検索ができる。

A SELECT コマンド

概要

■ SELECT コマンドの入力方法

=> **SEL L 番号 回答番号 抽出フィールド 抽出オプション**

① ② ③ ④

■ 各種設定項目について

① **L 番号** : どの L 番号の回答を SELECT するのかを指定

- 指定しなかったときには…… 直前の L 番号

② **回答番号** : L 番号中の解析する対象を回答番号で指定

- 指定しなかったときには… **全件**

- n / n-m / n- / n,m のようにさまざまな形で回答番号を指定できる

③ **抽出フィールド** : 抽出・解析したい項目を指定 (最大 5 項目まで指定可能)

- 指定しなかったときは… 各ファイルのデフォルトのフィールド

- 最大 5 項目 (フィールド) まで。項目間はスペースまたはコンマで区切って指定

- ヒットした… という指定もできる (例: HIT RN)

(注: 複数フィールドを指定した際に、HIT を用いるとすべてのフィールドに適用される)

/ZREGISTRY-17

抽出フィールドは、サマリーシートで調べることができる

SELECT, ANALYZE, SORT フィールド

SELECTコマンドは、回答セットの指定したフィールドから抽出した語句にE番号を付与します。
 ANALYZEコマンドは、回答セットの指定したフィールドから抽出した語句にL番号を付与します。
 SORTコマンドは、回答セットの指定したフィールドから抽出した語句にF番号を付与します。
 (該当項目はY) ここで、Y が付与されているフィールド (項目) は SELECT 可能 (フィールドのアルファベット順または数値順に並べ替えています)

フィールド	フィールドコード	ANALYZE/SELECT ¹⁾	SORT
非優先分子式	AF	Y ²⁾	N
非優先CAS登録番号	AR	Y ³⁾	N
沸点	BP	N	Y
CAplus 資料種類	DT, CA	Y	N
化学物質完全名称	CN	Y ⁴⁾	N
クラス識別子	CI	Y	N
成分クラス識別子	CCI	Y ⁵⁾	N
CAS登録番号および名称	CHEM	Y ⁶⁾ (デフォルト)	N
成分分子式	CMF	Y ⁷⁾	N
成分CAS登録番号	CRN	Y	N

REGISTRY ファイルで、抽出フィールドを指定しない場合は、CHEM が選択される

A SELECT コマンド

概要

④ 抽出オプション : 抽出・解析したい項目の中で, 対象をさらに特定のタームに限定

- 指定しなかったときは・・・ なし
- WITH “文字列” 特定の文字列 (20 文字まで指定可能) を含むタームの抽出
- NOT “文字列” 特定の文字列 (20 文字まで指定可能) を含まないタームの抽出
- LENGTH n 抽出・解析する文字数の限定 (先頭から n 文字: n は文字数)

注意点:

- * WITH と NOT は併用不可.
- * 1 フィールドの場合には, WITH/NOT と LEN の併用は可能
- * 複数フィールドの場合には, WITH/NOT と LEN の併用は不可
- * 複数フィールドで LEN を指定する場合には, 各フィールドに対してそれぞれ入力する.
一つしか LEN を入力しないと, 最初のフィールドのみ適用される

■ SELECT コマンドのシステム制限

- ・ 制限値 50,000 回答 (ただし, 最大 999 タームまで)
- E 番号が最大 E999 までしか付与できないため.



ポイント

SELECT コマンドで, 一度に抽出できるタームは E999 タームまでなので, あまり多くの回答を処理することができない.
大量の回答を処理するときは目的に応じて ANALYZE/TRANSFER コマンドを利用する.

A SELECT コマンド

入力例

よく使う
入力例

■ SELECT コマンド入力例

- ・ 特許系ファイルで、特許番号を確認する（件数が少ない場合）

=> SEL L 番号 PN
=> SEL L 番号 PN WITH “US”
=> D SEL

- “特許番号” のみのリストを作成することができる。
（特許種別，特許出願人，特許ファミリー情報などは反映されないので注意）
- WPI ファイル，CAplus/CA ファイルでは，一つの回答に複数の特許番号を含むことが多い。そのため，回答数が 999 件以内であってもシステム制限（E999）に達し，途中で抽出が止まる。

- ・ 統制語を探す方法として用いる

=> SEL L 番号 CT
=> D SEL

- どのような統制語を利用したほうがいいかわからないときに用いると効果的。

- ・ REGISTRY ファイルでの名称を利用して，他のファイルで化学物質検索する（P.7）

=> SEL L 番号 CHEM
=> FILE ##### * ##### は名称検索するファイル名
=> S E 番号 - E 番号

- REGISTRY ファイルで，SELECT を行うと，他のファイルで，化学物質の様々な同義名を利用した検索が簡単に行える

A SELECT コマンド

入力例



- ・ REGISTRY ファイルで、CAS 登録番号を抜き出して、その多成分物質（塩など）を検索する

=> SEL L 番号 RN

=> S E 番号/CRN

- フリー体の CAS 登録番号を抽出し、その E 番号を /CRN フィールドで検索すると、その多成分物質（塩など）を効率的に検索することができる。

- ・ ある文献を引用している文献を調べる

=> SEL L 番号 CIT

=> S E 番号 ((H)CAplus/(H)CA ファイル あるいは SciSearch ファイルで検索)

- 引用情報検索をするための質問式は、SEL CIT で作成できる。
- 作成した質問式の E 番号を (H)CAplus/(H)CA ファイルや SciSearch ファイルで検索するだけで、簡単に引用文献検索をすることができる。

- ・ CAplus/CA ファイルのある文献に索引されている化学物質を調べる

=> SEL L 番号 RN

=> FILE REGISTRY

=> S E 番号

- ある文献にどのような物質が索引されているか確認することができる。
- 一つのレコード中に複数の CAS 登録番号が含まれることが多いため、システム制限 (E 999) に達しやすいので注意。回答数が多い場合、TRANSFER コマンドを利用する。

A SELECT コマンド

検索例 1

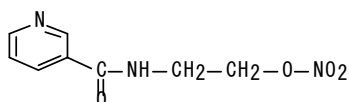
■ 検索例 1: シグマートの CAS 登録番号を確認する.

=> FILE REGISTRY

=> S SIGMART/CN ← 化学物質名称での検索
L1 T SIGMART/CN

=> D SCAN

L1 1 ANSWERS REGISTRY COPYRIGHT 2007 ACS on STN
IN 3-Pyridinecarboxamide, N-[2-(nitrooxy)ethyl]-
MF C8 H9 N3 O4
CI COM



=> SEL RN ← CAS 登録番号を抽出する
E1 THROUGH E1 ASSIGNED

=> D SEL ← 抽出したタームを表示する (無料)
E1 1 65141-46-0 **BI**

/BI が付与されている

- ・ さらにその多成分物質 (塩など) も検索する.

=> S E1/CRN ← 検索フィールドを入力すると変更可能
L2 11 65141-46-0/CRN

=> S L1-L2 ← フリー体と塩をまとめる
L3 12 (L1 OR L2)

- ・ シグマート関連物質の様々な名称 (CAS 登録番号を含む) を抽出し, 検索に利用する

=> SEL L3 CHEM ← 化学物質名 (一部の CA 索引名は除く) と CAS 登録番号を抽出する
E2 THROUGH E32 ASSIGNED

=> D SEL E2- ← 抽出された名称は確認可能

E2	1	DANCOR/BI
E3	1	IKOREL/BI
E4	1	N-(2-HYDROXYETHYL)NICOTINAMIDE NITRATE ESTER/BI
E5	1	N-(2-HYDROXYETHYL)NICOTINAMIDE NITRATE/BI
E6	1	N-(2-NITROOXYETHYL)NICOTINAMIDE/BI
E7	1	NICORANDIL FUMARATE/BI
E8	1	NICORANDIL GLUTARATE/BI
E9	1	NICORANDIL HOMOPOLYMER/BI
:		

長い名称はデータベースに入っていないことが多いので, 場合によっては省略する

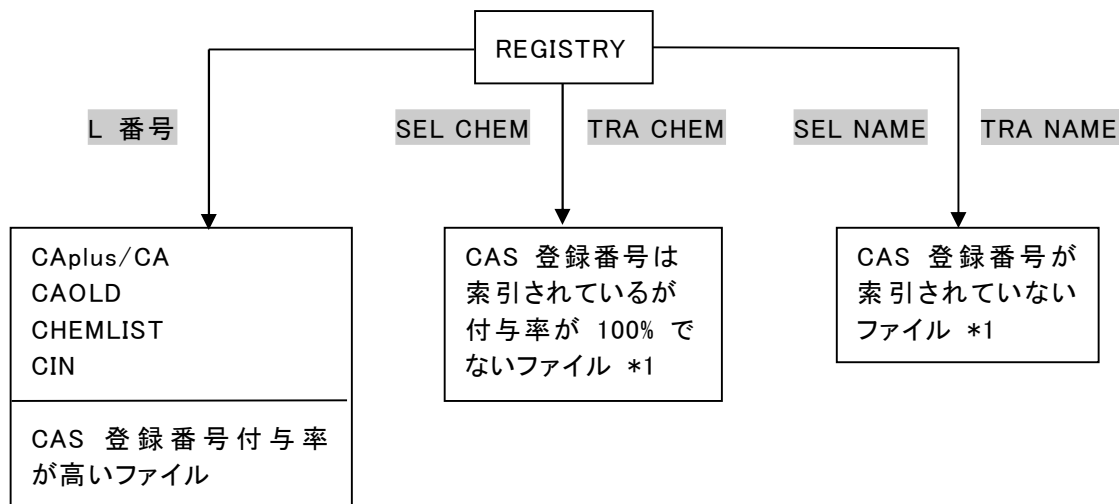
=> FILE MEDLINE

=> S E2-E3, E7-E32 ← E 番号を使うと簡単に名称検索が可能
L7 1096 (DANCOR/BI OR IKOREL/BI OR "NICORANDIL FUMARATE"/BI OR "NICORAN
:

A SELECT コマンド

検索例 1

参考：化学物質情報からの文献検索



NAME : REGISTRY ファイルの 倒置した CA 索引名を除く化学物質名称
CHEM : REGISTRY ファイルの CAS 登録番号と、倒置した CA 索引名を除く化学物質名称 (CAS 登録番号+NAME)

*1 索引の有無はサマリーシート/データベースカタログ参照



ポイント

- ・ SELECT コマンド (P.4) と TRANSFER (P.44) コマンドの使い分け

SELECT コマンドは 最大 999 ターム (= 999 名称) までしか抽出できないので、同義名のたくさんある物質を含む場合は TRANSFER コマンドの方がよい。

A SELECT コマンド

検索例 2

■ 検索例 2: 特許番号を表示する

=> FILE WPINDEX

=> S (EARTHQUAKE# OR SEISMIC WAVE#) (S) PREDICT?
L1 355 (EARTHQUAKE# OR SEISMIC WAVE#) (S) PREDICT?

=> S L1 AND 2007/PY
L2 12 L1 AND 2007/PY

=> SEL PN ← 回答中に含まれている特許番号を抽出
E1 THROUGH E23 ASSIGNED

=> D SEL ← 抽出したタームを表示する (無料)

E1	1	CN1867839/PN
E2	1	EP1480009/PN
E3	1	EP1679531/PN
E4	1	FI116341/PN
E5	1	IN2005001239/PN
E6	1	JP2004340856/PN
E7	1	JP2005134316/PN
E8	1	JP2007003538/PN
E9	1	JP2007040949/PN
E10	1	JP2007047936/PN
E11	1	JP2007093619/PN
E12	1	NZ540316/PN
E13	1	RU2295141/PN
E14	1	US20040233460/PN
E15	1	US20040260475/PN
E16	1	US20070033153/PN
E17	1	US20070041439/PN
E18	1	US7196634/PN
E19	1	US7196795/PN
E20	1	W02004095701/PN
E21	1	W02005043192/PN
E22	1	W02006126896/PN
E23	1	W02007031997/PN

特許ファミリー情報、特許種別などの
情報は反映されない



ポイント

WPI ファイルや CAplus/CA ファイルでは、一つのレコード中に複数の特許番号を含むことが多いため、システム制限 (E999) に達しやすいので注意。(その場合は ANALYZE コマンドを利用する)

A SELECT コマンド

検索例 3

- 検索例 3: 無料の表示形式がない, あるいは無料の表示形式ではほとんど内容が表示されないときに代用して, 得られた回答の内容を確認する

=> FILE REAXYSFILE

ReaxysFile ファイルには
無料の表示形式はない

=> S 108-94-1

L1 3 108-94-1
(108-94-1/RN, BPR)

=> S L1 AND RX/FA ← 反応情報を持つ化合物に限定する (無料)

L2 2 L1 AND RX/FA

=> SEL CN MF LSF ← 回答中に含まれている名称, 分子式, 示性式を抽出 (無料)
E1 THROUGH E9 ASSIGNED

=> D SEL

← 抽出したタームを表示する (無料)

E1 2 CYCLOHEXANONE/CN
:
E6 1 CYCLOHEXANONE RADICAL CATION/
E7 1 C6H100(1+)/LSF
:

複数のフィールドを選ぶことも可能
ただし, 料金は各項目ごとに課金されるので注意
(今回の例で利用した CN, MF, LSF はすべて無料)

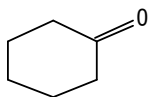
=> S L2 NOT E6-E7 ← L1 より不要な名称, 示性式を収録しているレコードを除く (無料)

L3 1 L2 NOT ("CYCLOHEXANONE RADICAL CATION"/CN OR "C6H100(1+)/LSF)

=> D IDE FRX ← IDE FRX 表示形式で表示

L3 ANSWER 1 OF 1 REAXYSFILE COPYRIGHT 2011 Elsevier Properties SA. on STN

Accession Number (AN): 385735
Basic Pref. RN (BPR): 108-94-1
CAS Reg. No. (RN): 108-94-1
Chemical Name (CN): cyclo-hexanone, Cyclohexanone,
:



Reaction:
RX

Reaction ID (.ID): 23338948
Reactant AN (.RAN): 11890952
Reactant (.RCT): 1-<7-<(6-methoxyquinolin-8-yl)amino>-3-aza-1-methyl-2-oxooc-tyl>-3-<(2-methylthio)et hyl>-1,4-diazaspiro<4.5>decan-2-one
Product AN (.PAN): 11890933, 385735
Product (.PRO): C23H35N5O3S, cyclo-hexanone
:

ReaxysFile ファイルでは, 化学物質の構造情報 (結合表) によって照合した CAS 登録番号が収録されている。そのため, 同じ構造情報を持つ立体異性体, ラジカル, イオン, 同位体ラベル化合物には, 複数の CAS 登録番号が付与されることがある。そのため, CAS 登録番号で検索すると複数の回答が得られる場合がある。

ただし, CAS 登録番号は 1996 年以降付与されていない。そのため, CAS 登録番号検索でヒットしない場合には, 構造検索でさらに検索するとよい。

A SELECT コマンド

検索例 4

■ 検索例 4: ある文献を引用している文献を検索する

=> FILE SCISEARCH

=> S 1998/PY AND SCIENCE/JT AND NAKAMURA S?/AU
L1 1 1998/PY AND SCIENCE/JT AND NAKAMURA S?/AU

=> D AU SO

L1 ANSWER 1 OF 1 SCISEARCH COPYRIGHT (c) 2007 The Thomson Corporation on STN
AU Nakamura S (Reprint)
SO SCIENCE, (14 AUG 1998) Vol. 281, No. 5379, pp. 956-961.
ISSN: 0036-8075.

=> SEL CIT ← 引用文献情報を検索するための検索キーを抽出
E1 THROUGH E1 ASSIGNED (SciSearch ファイルでは無料)

=> D SEL ← 抽出したタームを表示する (無料)
E1 1 NAKAMURA S, 1998, V281, P956, ?/RE

=> S E1 ← E 番号を使うだけで引用情報が簡単に検索可能
L2 394 "NAKAMURA S, 1998, V281, P956, ?"/RE
("NAKAMURA S, 1998, V281, P956, ?"/RE)

- ・ SELECT した CIT (引用情報検索キー) は, SciSearch/CAplus ファイルで検索すると, 元の文献を引用している文献レコードを検索することができる.

- ・ 現在 STN では以下のファイルで, => SEL CIT を使って引用文献検索キーを抽出できる.

- ADISCTI	- AEROSPACE	- AGRICOLA	- ANABSTR	- BIOSIS
- BIOTECHNO	- CA/CAplus	- CABA	- CASREACT	- COMPENDEX
- EMBASE	- ENCOMPLIT/2	- ENCOMPAT/2	- ESBIODASE	- FSTA
- GEOREF	- INSPEC	- KOSMET	- MEDLINE	- METADEX
- RAPRA	- SciSearch	- TEMA	- TOXCENTER	- TULSA/2
- USPATFULL	- USPAT2	- WELDASEARCH		

* 引用文献検索の詳細は, 文献検索一応用の資料を参照

<https://www.jaici.or.jp/stn/ref-doc.pdf>

A SELECT コマンド

検索例 5

■ 検索例 5: US2007060773 に索引されている CAS 登録番号や化学物質を調べたい

=> FILE CAPLUS

=> S US2007060773/PN ← 特許番号からの検索
L1 1 US2007060773/PN

=> SEL RN ← *CAplus* ファイルに索引されている CAS 登録番号を抽出
E1 THROUGH E34 ASSIGNED

=> D SEL ← 抽出した CAS 登録番号を確認する

E1 1 104-87-0/BI
E2 1 114-76-1/BI
E3 1 156-06-9/BI
E4 1 300843-77-0/BI
E5 1 328-50-7/BI
E6 1 5460-60-6/BI
E7 1 5470-11-1/BI
E8 1 590-17-0/BI
E9 1 7001-18-5/BI
:

CAplus/CA ファイルのレコードからの CAS 登録番号の抽出は、すぐ E999 の制限値になりやすいので注意したがって、件数がある程度ある場合は TRANSFER コマンドを利用する

=> FILE REGISTRY

=> S E1-E34 ← 抽出した E 番号を使って検索する
L2 34 (104-87-0/BI OR 114-76-1/BI OR 156-06-9/BI OR 300843-77-0/BI OR

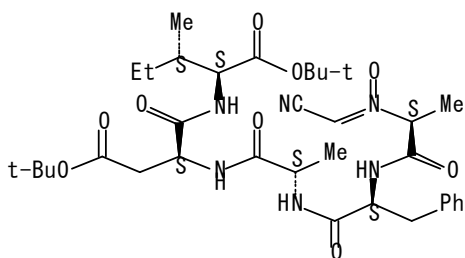
=> D SCAN

REGISTRY ファイルの CAS 登録番号検索なので無料

L2 34 ANSWERS REGISTRY COPYRIGHT 2007 ACS on STN
IN L-Isoleucine, N-(cyanomethylene)-N-oxido-L-alanyl-L-phenylalanyl-L-alanyl-L- α -aspartyl-, 4,5-bis(1,1-dimethylethyl) ester
SQL 5
MF C35 H52 N6 O9

RELATED SEQUENCES AVAILABLE WITH SEQLINK

Absolute stereochemistry.
Double bond geometry unknown.



PROPERTY DATA AVAILABLE IN THE 'PROP' FORMAT

HOW MANY MORE ANSWERS DO YOU WISH TO SCAN? (1):33

:

A SELECT コマンド

検索例 6

■ 検索例 6: すい臓がんに関する統制語を調べる.

=> FILE MEDLINE

=> SET PLU ON

← 自動的に複数形を含めて検索する設定

=> S PANCREATIC CANCER

← 思いつく適当なキーワードを入力する

L1 10400 PANCREATIC CANCER
(PANCREATIC(W) CANCER)

=> S L1 NOT NONMEDLINE/FS

← 統制語が収録されているレコードに限定する

2203035 NONMEDLINE/FS
L2 10051 L1 NOT NONMEDLINE/FS

=> SEL L2 CT

← 収録されている統制語を抽出する (無料)

E# OR SYSTEM LIMIT REACHED WHILE PROCESSING ANSWER 220
E1 THROUGH E999 ASSIGNED

解析ターム数が多いため、220 番目の回答を解析している途中で抽出が止まった

=> D SEL E1-E20

← 上位 20 タームを表示する (無料)

E1	465	PANCREATIC NEOPLASMS/CT
E2	300	ME/CT
E3	300	METABOLISM/CT
E4	230	GE/CT
E5	230	GENETICS/CT
E6	213	HUMANS/CT
E7	194	PA/CT
E8	194	PATHOLOGY/CT
E9	123	DE/CT
E10	123	DRUG EFFECTS/CT
E11	121	PD/CT
E12	121	PHARMACOLOGY/CT
E13	115	THERAPEUTIC USE/CT
E14	115	TU/CT
E15	110	ADENOCARCINOMA/CT
E16	106	DRUG THERAPY/CT
E17	105	DT/CT
E18	98	AD/CT
E19	98	ADMINISTRATION & DOSAGE/CT
E20	84	MALE/CT

すい臓がんの統制語は、PANCREATIC NEOPLASMS ということが分かった

SELECT したタームは、出現頻度順 (OCC) 順に E 番号が付与される

=> S PANCREATIC(W) (CANCER OR NEOPLASM)

← 統制語を含めた検索をすると回答件数が増える

L2 36547 PANCREATIC(W) (CANCER OR NEOPLASM)

=> S L2 OR PANCREATIC NEOPLASMS+NT/CT

← 下位語を含めた検索をすると回答件数が増える

L3 38467 L2 OR PANCREATIC NEOPLASMS+NT/CT

* 統制語検索の詳細については、講習会や下記資料を参照

医学・薬学情報検索 (講習会), 文献検索一応用 (<https://www.jaici.or.jp/stn/ref-doc.pdf>)

B ANALYZE コマンド

B ANALYZE コマンド

概要

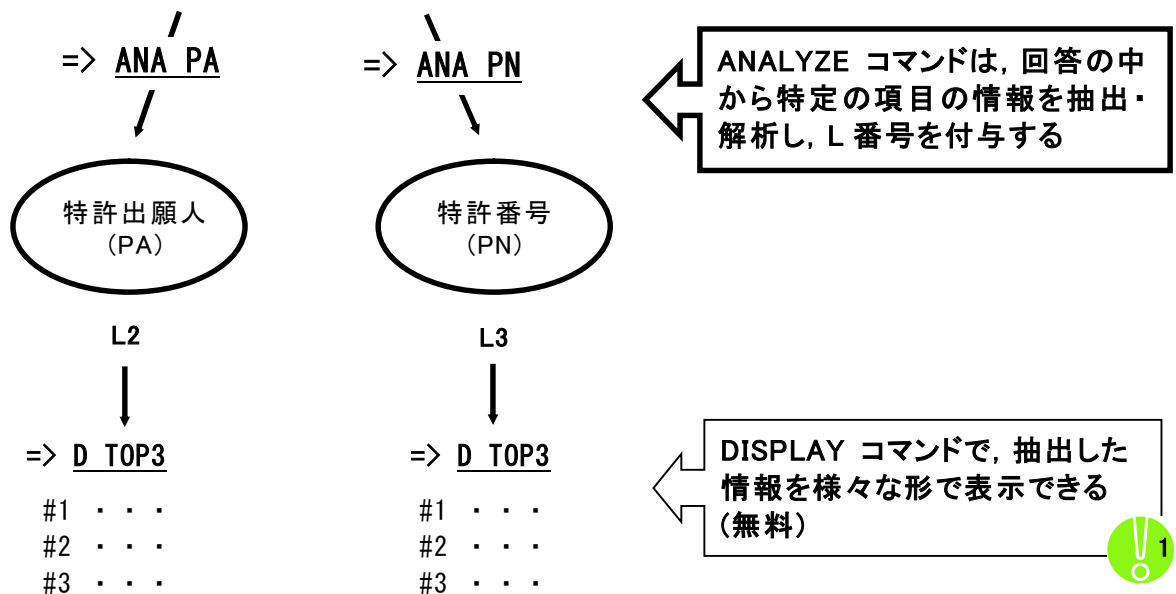
■ STN で使える応用コマンド

コマンド	内容
<u>SELECT</u>	L 番号の中から目的の回答を「抽出」
<u>ANALYZE</u>	L 番号の中から目的の回答を「抽出・解析」  を強化したコマンド
<u>TRANSFER</u>	L 番号の中から目的の回答を「抽出・検索」  を強化したコマンド

■ ANALYZE コマンドは、回答の中から特定のフィールド（情報）を抽出し、L 番号を付与するコマンドである。

=> FILE CAPLUS

=> S (SOLID OXIDE (L) FUEL CELL OR SOFC) AND JP/PC
L1 1309 (SOLID OXIDE (L) FUEL CELL OR SOFC) AND JP/PC



ポイント

解析した内容は、アルファベット順（A→Z, Z→A）や、出現頻度順（少→大, 大→少）、レコード数順（少→大, 大→少）に並べたり、あるいは、全部表示、上位〇位までの表示など、表示する数やオプション（ある特定文字のみ含むものを表示など）を指定できるので、様々な形式で表示できる。

SELECT より抽出できるターム（最大 50,000 ターム）が多いので、多くの回答を処理するのに向いている。

B ANALYZE コマンド

概要

■ ANALYZE コマンドの入力方法

=> ANA L 番号 回答番号 抽出フィールド 抽出オプション

① ② ③ ④

■ ANALYZE コマンドのシステム制限

- ・ 制限値 50,000 件（ただし、最大 50,000 タームまで）
- ・ 料金は解析する件数に依存する。



ポイント

1回で5 フィールドまで ANALYZE できる。

SELECT コマンドでは一度に抽出できるタームは最大 999 までなので、大量の回答を処理する場合は ANALYZE コマンドを利用する。

■ 入力例

=> <u>ANA L1 1- PA</u>	← L1 の全件から PA を ANALYZE する
=> <u>ANA L1 PA PY.B</u>	← L1 の全件（デフォルト）から PA と PY.B を ANALYZE する
=> <u>ANA L2 1-50 PN WITH "JP"</u>	← L2 の 1 番目から 50 番目の回答から "JP" の文字列を含む PN を ANALYZE する
=> <u>ANA L2 IPC LEN 4 PY.B</u>	← L2 の全件から IPC の先頭 4 文字（サブセクション）と PY.B を ANALYZE する

B ANALYZE コマンド

概要

■ 各種設定項目について

① L 番号 : どの L 番号の回答を ANALYZE するのかを指定

- 指定しなかったときには…… 直前の L 番号

② 回答番号 : L 番号の中の解析する対象を回答番号で指定

- 指定しなかったときには…… **全件**
- $n / n-m / n- / n,m$ のようにさまざまな形で回答番号は指定できる
- 最高 50,000 件まで解析可能 (ただし, タームの制限もあるので注意)

③ 抽出フィールド : 抽出・解析する項目の情報を指定 (最大 5 項目まで指定可能)

- 指定しなかったときは…… 各ファイルのデフォルトのフィールド
 - 最大 5 項目 (フィールド) まで. 項目間はスペースまたはコンマで区切って指定
 - ヒットした…… というような指定もできる (例: HIT RN)
- (注: 複数フィールドを指定した際に HIT を用いるとすべてのフィールドに適応される)

抽出フィールドは, サマリーシートで調べることができる

SELECT, ANALYZE コマンドは, 回答セットの指定したフィールドから抽出した語句にE番号を付与します.
ANALYZEコマンドは, 抽出した語句にL番号を付与します.
SORTコマンドは, 抽出した語句のアルファベット順または数値順に並べ替えます.
(該当項目はY, 該当しないものはNで表示されています)

フィールド	フィールドコード	ANALYZE/SELECT ¹⁾	SORT
非優先分子式	AF	Y ²⁾	N
非優先CAS登録番号	AR	Y ³⁾	N
沸点	BP	N	Y
CAPLUS 資料種類	DT, CA	Y	
化学物質完全名称	CN	Y ⁴⁾	
クラス識別子	CI	Y	
成分クラス識別子	CCI	Y ⁵⁾	
CAS登録番号および名称	CHEM	Y ⁶⁾ (デフォルト)	N
成分分子式	CMF	Y ⁷⁾	N
成分CAS登録番号	CRN	Y	N

REGISTRY ファイルで, 抽出フィールドを指定しない場合は, CHEM が選択される

④ 抽出オプション : 抽出・解析したい項目の中で, 対象をさらに特定のタームに限定

- 指定しなかったときは…… なし
- WITH “文字列” 特定の文字列 (20 文字まで指定可能) を含むタームの抽出
- NOT “文字列” 特定の文字列 (20 文字まで指定可能) を含まないタームの抽出
- LENGTH n 抽出・解析する文字数の限定 (先頭から n 文字: n は文字数)

注意点:

- * WITH と NOT は併用不可.
- * 1 フィールドのみの場合には, WITH/NOT と LEN の併用は可能
- * 複数フィールドの場合には, WITH/NOT と LEN の併用は不可
- * 複数フィールドで LEN を指定する場合には, 各フィールドに対してそれぞれ入力する.
一つしか LEN を入力しないと, 最初のフィールドのみ適用される

B ANALYZE コマンド

入力例



■ ANALYZE コマンド入力例

- ・ ある分野の特許番号リストを作成する

=> ANA L 番号 PN

- “特許番号”のみのリストを作成することができる。
(特許種別, 特許出願人, 特許ファミリー情報などは反映されないので注意)
 - WPI ファイル, CAplus/CA ファイルでは, 一つの回答に複数の特許番号を含むことが多いため, 50,000 件以内でも, システム制限に達してしまう場合がある。
(もう一つのシステム制限, 50,000 ターム = 50,000 特許番号)
 - 後述の DISPLAY コマンドで, オプションを使うと, 特定国の特許番号のリストも作成することができる。
- ・ 研究分野の傾向を IPC を利用して調査する。あるいは, 特定の研究分野に対して, どのような IPC が付与されているかを調査する

=> ANA L 番号 IPC

=> ANA L 番号 IPC LEN #

- LEN # を利用すると, 特定のセクション, クラス, グループまでの解析が可能
例: LEN 4 (サブクラスの解析)
- IPC 8 対応のファイルでは, SET ICFORMAT ON を入力してから, 解析する。
理由: IPC 1-7 まではメイングループ 3 桁。IPC 8 はメイングループ 4 桁。
上記の設定をしないと, 同じ IPC が付与されていても, 桁数が異なるため, 別の IPC として認識される。
- 米国特許分類や, ヨーロッパ特許分類などを収録しているファイルでは, IPC 以外の特許分類も解析することができる。抽出フィールドについては, サマリーシートを参照。

- ・ ある分野についての所属機関・特許出願人に関する動向を調べる。

=> ANA L 番号 所属機関・特許出願人に関するフィールド

- 所属機関，特許出願人に関するフィールドは，CS や PA ではなく，各ファイル特有のコードを利用したほうがよい場合もある。

WPI : PAX (特許出願人コードと出願名)

CAplus/CA : PA (特許出願人)，CO (特許と非特許文献の所属機関)，
CS.ORG (非特許文献の所属機関)

INPADOCDB: PA.M (レコード中の特許出願人)，PA (最新の特許出願人)

- 所属機関・特許出願人名は，データが統制されて入っていないため，同じ会社でも，様々な名称でデータが収録されている場合も多い。そのため，編集してまとめるとよい。(方法は P. 25)
- ・ CAplus/ CA ファイルで得られた回答には，どのような化合物 (CAS 登録番号) が頻繁に索引されているのかを調査する。

=> ANA L 番号 RN

=> ANA L 番号 HIT RN

- RN はレコード中の全ての CAS 登録番号が解析できる
- HIT を付け加えると，ヒットした CAS 登録番号のみを解析することができる
- RN を解析する際は，あまり多くの件数を解析しないようにする。

理由：CAS 登録番号は，一つのレコードに複数収録されていることも多いため，多くの回答を解析すると，タームの制限値を超える可能性が高い。
(特に，配列関連の特許は注意)

- CAS 登録番号の後に付与される D や P を含めて解析することはできない。
- この解析結果を REGISTRY ファイルで検索すると，その物質情報を簡単に見ることができる。(詳細は P. 36, 38)

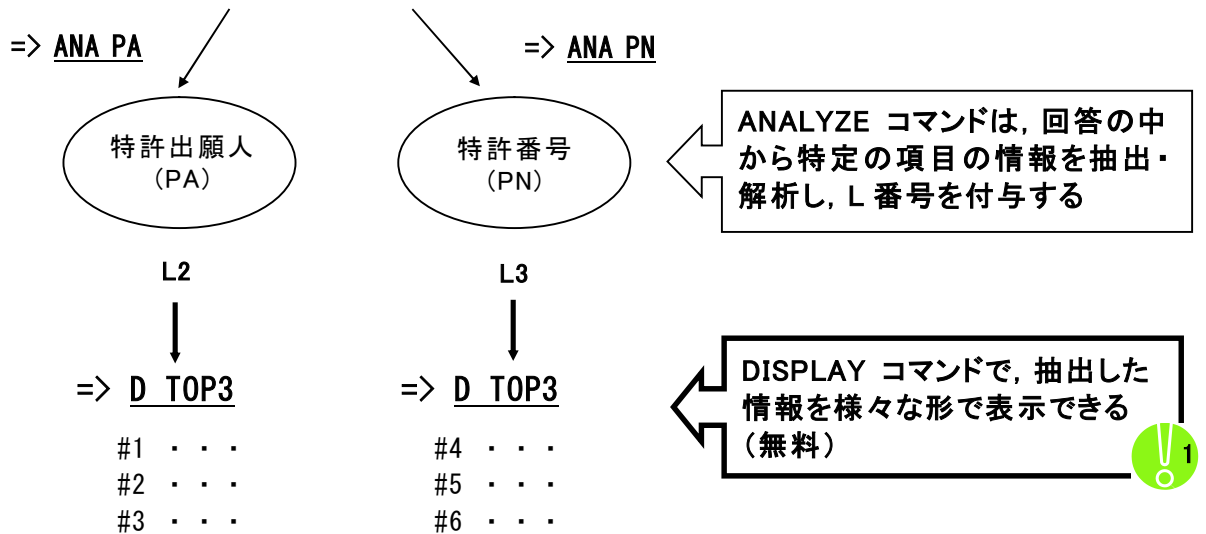
B ANALYZE コマンド

DISPLAY コマンド

- DISPLAY コマンドを利用すると、ANALYZE で解析した結果を様々な表示形式で、無料で表示することができる

=> FILE CAPLUS

=> S (SOLID OXIDE (L) FUEL CELL OR SOFC) AND JP/PC
L1 1309 (SOLID OXIDE (L) FUEL CELL OR SOFC) AND JP/PC



ポイント

解析した内容は、アルファベット順 (A→Z, Z→A) や、出現頻度順 (少→大, 大→少), レコード数順 (少→大, 大→少) に並べたり,あるいは,全部表示,上位〇位までの表示など,表示する数やオプション (ある特定文字のみ含むものを表示など) を指定できるので,様々な形式で表示できる.

- DISPLAY コマンドの入力方法 (無料)

=> D ANALYZE 結果の L 番号 抽出フィールド 表示範囲
① ② ③
表示順序 抽出オプション
④ ⑤

【参考】

ANALYZE コマンドの後の DISPLAY コマンドはどのファイルでも実行できるので,接続時間料無料のファイルで実行すると経済的である.

B ANALYZE コマンド

DISPLAY コマンド

■ 各種設定項目について

① ANALYZE の結果の L 番号

- 指定しなかったときには…… 直前の L 番号

② 抽出フィールド : 表示する項目の内容を指定

- 指定しなかったときには…… 解析した全ての項目
- 複数の項目を ANALYZE した場合は、指定するとよい。
(例えば、IPC と PA を同時に解析した場合、まとめて表示されるので、フィールドを個別に指定する)

③ 表示範囲 : 表示する量を指定

- 指定しなかったときには…… 上位 10 ターム
- 1- または ENTire : 全ターム
- TOP n : 上位 n ターム
- n / n-m / n- / n,m : ターム番号の指定
- OGT : 出現数 n 以上のターム
- DGT : レコード数 n 以上のターム
- PGT または、%GT n : レコード数の全体に占める割合が n% 以上のターム

④ 表示順序 : 表示する順序 (アルファベット順・頻度順など) を指定

- 指定しなかったときには…… 最初は出現頻度順 (OCC), 以降は直前の表示順序
- OCCurrence: 出現頻度
- ALPhabetic: アルファベット順
 - ↳ A (昇順) A→Z、数字は小さい順 (0→9) (デフォルト)
 - ↳ D (降順) Z→A、数字は大きい順 (9→0)
- DOcument: レコード数
 - ↳ A (昇順) レコード数の少ない順 (0→9)
 - ↳ D (降順) レコード数の多い順 (9→0) (デフォルト)
- PERCENT または %: レコード数の全体に占める割合順
 - ↳ A (昇順) 割合の少ない順 (0→100)
 - ↳ D (降順) 割合の多い順 (100→0) (デフォルト)

⑤ 抽出オプション : 表示する項目の中で、対象をさらに特定のタームに限定

- 指定しなかったときは…… なし
- WITH “文字列” 特定の文字列 (20 文字まで指定可能) を含むタームの抽出
- NOT “文字列” 特定の文字列 (20 文字まで指定可能) を含まないタームの抽出
- ANS 抽出前の回答集合中の回答番号を表示
 - * 特許番号, CAS RN, レコード番号など一部のフィールドでは表示されない
- DETAIL 検索フィールドをタームに付与して表示
- DELIMITED デリミタ形式 (セミコロン (;) で区切った形式) で表示
 - Excel でグラフ化する際に有用

B ANALYZE コマンド

DISPLAY コマンド - 入力例

■ DISPLAY コマンド入力例



- ・ 特許番号の解析・表示例

```
=> ANA L1 PN
      :
L2      ANALYZE L1 1- PN :      249 TERMS
```

=> D 1- ALP ← アルファベット順 (A→Z) に全件表示

=> D 1- ALP WITH “US”

↑ ” US” がつくターム (特許番号) をアルファベット順 (A→Z) に全件表示

- ・ IPC の解析・表示例

```
=> ANA L1 IPC
      :
L2      ANALYZE L1 1- IPC :      592 TERMS
```

=> D TOP 30 DOC ← レコードの多い順で上位 30 件表示

=> D 1- DOC NOT “C07D” ANS

↑ ” C07D” を含まないターム (IPC) をレコードの多い順に全件表示

(回答番号つき)

=> D TOP 20 DOC WITH “C07D”

↑ ” C07D” を含むターム (IPC) をレコードの多い順に上位 20 件表示



レコード数順: そのタームを含むレコード (回答) の数

頻度順: そのタームが出現した数

例: ある特許に, C07D0001-00, C07D0002-00 という 二つの IPC が付与されている場合, LEN 4 で解析すると, 解析対象は C07D になる. その結果, レコード数のカウントは 1 となるが, 頻度は 2 になる.

そのため, 大体の傾向を見る場合には, レコード数順が適当であることが多い.

B ANALYZE コマンド

DISPLAY コマンド - 入力例



・ 特許出願人の解析・表示例

=> ANA L1 PAX
:
L2 ANALYZE L1 1- PAX : 342 TERMS

=> D TOP 20 DOC ← レコードの多い順に上位 20 件表示
=> D TOP 20 DOC ANS ← " (回答番号つき)
=> D 1- ALP ← アルファベット順 (A→Z) に全件表示

・ CAS 登録番号の解析・表示例

=> ANA L1 RN
:
L2 ANALYZE L1 1- PAX : 5003 TERMS

=> D TOP 20 DOC ← レコードの多い順に上位 20 件表示
=> D 4950-5003 DOC ← レコード数順に, 4950-5003 番目のタームを表示

・ 複数のフィールドをまとめて解析・表示する例

=> ANA L1 IPC PA LEN 4
:
L2 ANALYZE L1 1- IPC PA LEN 4 : 4698 TERMS

=> D IPC TOP 20 DOC ← IPC のレコードの多い順に上位 20 件表示
=> D PA DOC ANS ← PA のレコードの多い順に上位 10 件表示
(回答番号つき)

B ANALYZE コマンド

検索例 1

■ 検索例 1: 超臨界水に関する特許を WPINDEX ファイルで検索・解析する

=> FILE WPINDEX

=> SET PLU ON; SET ABB ON; SET ICFORMAT ON

=> S SUPERCRIT?(1W) (WATER OR AQUEOUS)

L1 2259 SUPERCRITIC?(W) (WATER OR AQUEOUS)

=> ANA PN

← 回答全件の中から特許番号を解析する

L2 ANALYZE L1 1- PN : 1406 TERMS●

解析したターム数
(SELECT コマンドの制限値を超えている)

L 番号, 回答番号を入力しない場合は, 直前の L 番号, 全件を解析

=> SAVE TEMP L2 SUPER1/Q ●

QUERY L2 HAS BEEN SAVED AS 'SUPER/Q'

解析した結果は, SAVE コマンドを使って, /Q
で保存することが可能.
TEMP は, 1 週間, 無料で保存できる

=> D ← 直前の L 番号の解析した全ての項目, 頻度順で上位 10 ターム表示

L2 ANALYZE L1 1- PN : 1077 TERMS

TERM # # OCC # DOC % DOC PN

ターム 頻度 レコード数 #DOC 抽出フィールド
番号 /全レコード

1	3	1	0.13	EP309562
2	3	1	0.13	EP404832
3	3	1	0.13	EP579721
4	3	1	0.13	EP671454
5	3	1	0.13	EP708058
6	3	1	0.13	EP729914
7	2	1	0.13	AU2002326926
8	2	1	0.13	AU2003216067
9	2	1	0.13	CA2143404
10	2	1	0.13	CA2170657

頻度が 2 のタームが他に 46 タームあることがわかる

46 MORE TERMS WITH AN OCCURRENCE COUNT OF 2

=> D 1- ALP WITH "JP" ← 直前の L 番号の "JP" が付与されたタームを

L2 ANALYZE L1 1- PN : 1077 TERMS 全件表示(アルファベット順 A→Z, 0→9)

TERM # # OCC # DOC % DOC PN

316	1	1	0.13	JP01038532 B
317	1	1	0.13	JP01502967
318	1	1	0.13	JP02135069
:				

ANALYZE コマンドの結果は, 様々な
形式で抽出したタームを表示できる

日本の特許番号のリストが作成できた

B ANALYZE コマンド

検索例 1

=> FILE WPINDEX

最大 5 フィールド（項目）まで、一度に解析可能

=> ANA L1 PN IPC PAX PY.B

L3 ANALYZE L1 1- PN IPC PAX PY.B : 3184 TERMS

多くの項目を解析すると、ターム数が多くなるので
システム制限値に注意

=> D ← 直前の L 番号の解析した全ての項目、頻度順で上位 10 ターム表示

L3 ANALYZE L1 1- PN IPC PY.B : 3184 TERMS

TERM #	# OCC	# DOC	% DOC	PN IPC PAX PY.B
1	535	247	30.99	B01J0003-00
2	306	153	19.20	C12P0001-02
3	235	110	13.80	B09B0003-00
4	202	99	12.42	C02F0001-74
5	162	77	9.66	B01J0003-02
6	144	144	18.07	2003
7	141	141	17.69	2004

多くのフィールド（項目）を同時に解析
する場合は、表示する項目を指定しないと、
全てのタームが頻度順に表示される

=> D PN ALP 1- WITH "JP"

L3 ANALYZE L1 1- PN IPC PAX PY.B : 3184 TERM 直前の L 番号の "JP" の付与された PN に
ついて、アルファベット順で
全件表示

TERM #	# OCC	# DOC	% DOC	PN IPC PAX PY.B
2067	1	1	0.13	JP01038532 B
2068	1	1	0.13	JP01502967
2069	1	1	0.13	JP02135069
2070	1	1	0.13	JP03503858
2071	1	1	0.13	JP04065305

JP を含む特許番号のみのリストが
作成できた

=> D IPC DOC ANS

L3 ANALYZE L1 1- PN IPC PAX PY.B : 3184 TERMS 直前の L 番号の IPC について、レコード数順で
上位 10 ターム表示
(回答番号つき)

TERM #	# OCC	# DOC	% DOC	PN IPC PAX
1	535	247	30.99	B01J0003-00 (ANS: 3, 4, 5, 23, 24, 25, 27, 32, 35, 36, 37, 38, 41, 42, 50, 51, 52, 53, 58, 59, 60, 61, 63, 65, 68, 71, 72, :
2	306	153	19.20	C12P0001-02 (ANS: 99, 100, 101, 102, 103, 104, :
5	235	110	13.80	B09B0003-00 (ANS: 3, 5, 15, 17, 24, 27, 32, 59, 61, 68, 83, 85, 96, :
7	139	103	12.92	C02F0011-06 :

ANS を一緒に指定すると、そのターム
が存在する回答番号がわかる

B ANALYZE コマンド

検索例 1

=> **D PAX DOC TOP 30** ← 直前の L 番号の PAX についてレコード数順で
 L3 ANALYZE L1 1- PN IPC PAX PY.B : 3184 TERMS 上位 30 ターム表示

TERM #	# OCC	# DOC	% DOC	PN	IPC	PAX	PY.B
6	107	107	13.43	(JAOR-C)	ORGANO CORP		
11	79	79	9.91	(PLAN-R)	PLANTS BIOLOG PROTECTION RES INST		
31	34	34	4.27	(CONS-R)	CONSERVE FRUIT DRYING IND INST		
33	33	33	4.14	(KDAG-R)	KRASD AGRIC PROD STORAGE AND PROCESSING		
35	29	29	3.64	(CHUB-C)	CHUBU DENRYOKU KK		
44	24	24	3.01	(HITA-C)	HITACHI LTD		
49	22	22	2.76	(MITO-C)	MITSUBISHI JUKOGYO KK		
54	21	21	2.63	(SHOX-C)	SHOWA ELECTRIC WIRE & CABLE CO		
60	18	18	2.26	(MITV-C)	MITSUBISHI MATERIALS CORP		
:							
198	4	4	0.50	(BERK-I)	BERKOWITZ N		
199	4	4	0.50	(ECOD-N)	ECO DESIGN KK		
200	4	4	0.50	(ENOM-I)	ENOMOTO H		
201	4	4	0.50	(GEAT-C)	GEN ATOMICS INC		
202	4	4	0.50	(HANW-N)	HANWHA CHEM CORP		
203	4	4	0.50	(MITO-C)	MITSUBISHI HEAVY IND CO LTD		
204	4	4	0.50	(NIGA-C)	NGK INSULATORS LTD		
205	4	4	0.50	(NSMO-C)	NISSAN MOTOR CO LTD		
206	4	4	0.50	(RPCW-N)	RPC WASTE MANAGEMENT SERV		
207	4	4	0.50	(SHIA-C)	SHINKO PANTEC CO LTD		

同じ会社だが、表記が異なる会社名として別々にカウントされている

ANALYZE コマンドの結果はタームの編集ができる

※ PY.B について

WPI ファイルや CAplus/CA ファイルのレコードは発明単位（特許ファミリー単位）であるため、1 レコード中に複数の特許情報（PN, PY, PD）が含まれていることが多い。これらのレコードで年や日を ANALYZE する際は、1 レコードから 1 データを抽出できるフィールド（PN.B, PY.B, PRYF）を使用すると、発明単位での解析ができる。

※ ANS で表示した回答番号を使って回答を表示した例

=> FILE WPINDEX

=> **D L1 795 STD**

解析対象の L 番号、ANS で表示された回答番号を指定する

```

L1 ANSWER 795 OF 798 WPINDEX COPYRIGHT 2007 THE THOMSON CORP on STN
AN 1981-67990D [38] WPINDEX Full-text
CR 1985-255893
TI Treating organic material and water with oxygen - and with water at
   supercritical temperature and pressure during reaction
DC D15; P35; P41; P43; Q72; Q73; Q74
IN MODELL M
PA (MODA-N) MODAR INC
CYC 13
PI BE 888696 A 19810828 (198138)* FR 29
   :
   JP 01038532 B 19890815 (198936) JA
   DE 3118348 C 19910620 (199125) DE
   SE 467052 B 19920518 (199223) SV
   :

```

<--

B ANALYZE コマンド

検索例 1

=> **D L3 PAX 1- ALPHA** ← アルファベット順で表示すると同義名を探しやすい

L3 ANALYZE L1 1- PN IPC PAX PY.B : 3184 TERMS

TERM #	# OCC	# DOC	% DOC	PN	IPC	PAX
:						
22	3	3	0.38	(ASAH-C)	ASAHI	KASEI KK
23	2	2	0.25	(ASAH-C)	ASAHI	KASEI KOGYO KK
:						
236	4	4	0.50	(MITO-C)	MITSUBISHI	HEAVY IND CO LTD
237	20	20	2.76	(MITO-C)	MITSUBISHI	JUKOGYO KK
:						
456	1	1	0.19	(ZHAN-I)	ZHANG	Y

=> **SAVE TEMP L3 SUPER2/Q** ← タームの編集前に回答を一度保存しておく
(間違えて編集した場合、元に戻せないため)

=> **EDIT COM L3** ← タームの統合には EDIT COM コマンドを使用

ENTER PREFERRED TERM NUMBER OR (?): **23**

(統合するタームのうち、基準となる(優先される)タームの番号を指定)

PREFERRED TERM: (ASAH-C) ASAHI KASEI KOGYO KK/PAX

(優先されるタームが自動的に表示される)

ENTER EQUIVALENT TERM NUMBERS OR (END): **22**

(上記指定したタームに対して、統合したいターム番号を指定)

EQUIVALENT TERM: (ASAH-C) ASAHI KASEI KK/PAX

(統合されるタームが自動的に表示される)

ENTER EQUIVALENT TERM NUMBERS OR (END): **END**

(他にも統合したいタームがある場合は、ターム番号で追加可能。なければ END と入力する)

APPLY CHANGES? (Y)/N: **Y**

(この設定に変更する場合は、Y。キャンセルする場合は N)

TERMS COMBINED

=> **EDIT COM L3**

ENTER PREFERRED TERM NUMBER OR (?): **236**

PREFERRED TERM: (MITO-C) MITSUBISHI HEAVY IND CO LTD/PAX

ENTER EQUIVALENT TERM NUMBERS OR (END): **237**

EQUIVALENT TERM: (MITO-C) MITSUBISHI JUKOGYO KK/PAX

ENTER EQUIVALENT TERM NUMBERS OR (END): **END**

APPLY CHANGES? (Y)/N: **Y**

TERMS COMBINED

=> **EDIT COM L3**

ENTER PREFERRED TERM NUMBER OR (?): **304**

PREFERRED TERM: (QUAN-N) QUANTUM ENERGY TECHNOLOGIES CORP/PAX

ENTER EQUIVALENT TERM NUMBERS OR (END): **305, 306**

EQUIVALENT TERM: (QUAN-N) QUANTUM ENERGY TECHNOLOGIES/PAX

EQUIVALENT TERM: (QUAN-N) QUANTUM ENERGY TECHNOLOGIES/PAX

ENTER EQUIVALENT TERM NUMBERS OR (END): **END**

APPLY CHANGES? (Y)/N: **Y**

TERMS COMBINED

:

カンマで区切れば、複数のタームが指定可能

タームの編集を行う場合には、DISPLAY コマンドで一つ一つ確認せずに一度に編集する。一つのタームを変更するたびに、DISPLAY コマンドで確認すると、そのたびに訂正すべきターム番号がずれる

B ANALYZE コマンド

検索例 1

=> D PAX DOC TOP10

L3 ANALYZE L1 1- PN IPC PAX PY.B : 3184 TERMS
(AFTER EDITS : 3180 TERMS)

TERM #	# OCC	# DOC	% DOC	PN	IPC	PAX	PY.B
6	107	107	13.43	(JAOR-C)	ORGANO	CORP	
11	79	79	9.91	(PLAN-R)	PLANTS	BIOLOG PROTECTION RES INST	
31	34	34	4.27	(CONS-R)	CONSERVE	FRUIT DRYING IND INST	
33	33	33	4.14	(KDAG-R)	KRA	SSING	
35	29	29	3.64	(CHUB-C)	CHU		
44	24	24	3.01	(HITA-C)	HITACHI	LTD	
49@	26	22	2.76	(MITO-C)	MITSUBISHI	HEAVY IND CO LTD	
54	21	21	2.63	(SHOX-C)	SHOWA	ELECTRIC WIRE & CABLE CO	
60	18	18	2.26	(MITV-C)	MITSUBISHI	MATERIALS CORP	
61	17	17	2.13	(TOKE-C)	TOSHIBA	KK	
62	17	17	2.13	(UYKU-R)	UNIV KUBAN	TECHN	

統合されたタームには、@マークがつく

@ INDICATES TERM AFFECTED BY MOST RECENT EDITS

※ 参考

49@	26	22	2.76	(MITO-C)	MITSUBISHI	HEAVY IND CO LTD
-----	----	----	------	----------	------------	------------------

統合した結果、三菱重工業(株) は OCC は 4 増えたが、DOC は増えなかった。

(MITO-C) MITSUBISHI JUKOGYO KK と記載のある回答には、一緒に (MITO-C) MITSUBISHI HEAVY IND CO LTD も入っていたので、レコード数 (DOC) は増えず、頻度 (OCC) のみ増えた

L1 ANSWER 483 OF 797 WPINDEX COPYRIGHT 2007 THE THOMSON CORP on STN

PA (ISHI-I) ISHIDA H; (ITOK-I) ITO K; (MITO-C) MITSUBISHI HEAVY IND CO LTD;
(MITO-C) MITSUBISHI JUKOGYO KK; (MITS-I) MITSUHASHI M; (SHIM-I) SHIMADA
T; (YUKI-I) YUKI A

L3 ANSWER 660 OF 797 WPINDEX COPYRIGHT 2007 THE THOMSON CORP on STN

PA (MITO-C) MITSUBISHI HEAVY IND CO LTD; (MITO-C) MITSUBISHI JUKOGYO KK;
(TOEL-C) TOHOKU ELECTRIC POWER CO

L3 ANSWER 719 OF 797 WPINDEX COPYRIGHT 2007 THE THOMSON CORP on STN

PA (IIJI-I) IIJIMA M; (KOB-I) KOBAYASHI K; (MAKI-I) MAKIHARA H; (MATS-I)
MATSUBARA W; (MITO-C) MITSUBISHI HEAVY IND CO LTD; (MITO-C) MITSUBISHI
JUKOGYO KK

L3 ANSWER 734 OF 797 WPINDEX COPYRIGHT 2007 THE THOMSON CORP on STN

PA (MITO-C) MITSUBISHI HEAVY IND CO LTD; (MITO-C) MITSUBISHI JUKOGYO KK

B ANALYZE コマンド

検索例 1

参考: TABULATE コマンド

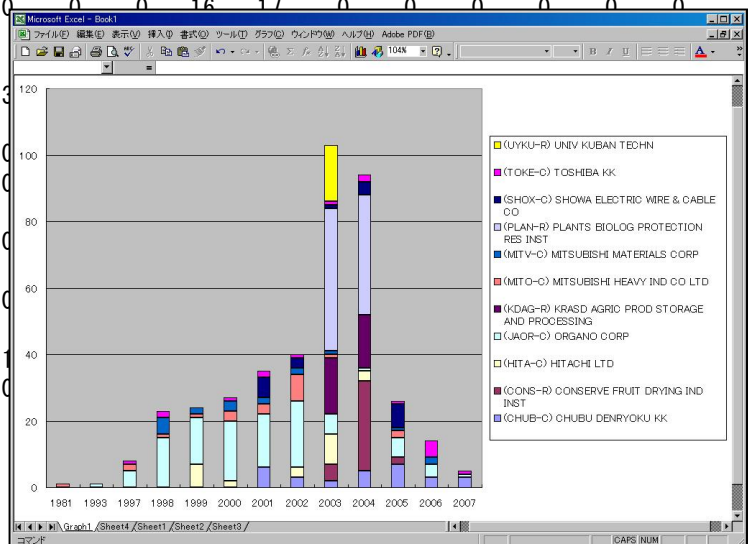
- ・ 複数フィールドを解析した際、そのうちの 2 つのフィールド（項目）を関連させて表示させることができる。

例: 検索例 1 の特許発行年に対する特許出願人の推移

	PY. B										
PAX	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
(JAOR-C) ORGANO CORP	1	4	6	1	6	20	16	18	14	15	5
(PLAN-R) PLANTS BIOLOG PROTECTION RES INST	0	0	0	36	43	0	0	0	0	0	0
(CONS-R) CONSERVE FRUIT DRYING IND INST	0	0	2	27	5	0	0	0	0	0	0
(KDAG-R) KRASD AGRIC PROD STORAGE AND PROCESSING	0	0	0	16	17	0	0	0	0	0	0
(CHUB-C) CHUBU DENRYOKU KK	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(HITA-C) HITACHI LTD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(MITO-C) MITSUBISHI HEAVY IND CO LTD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(SHOX-C) SHOWA ELECTRIC WIRE & CABLE CO	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(MITV-C) MITSUBISHI MATERIALS CORP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(TOKE-C) TOSHIBA KK	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(UYKU-R) UNIV KUBAN TECHN	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



ポイント



TABULATE コマンドは多くのファイルで実行可能なので、接続時間料無料のファイルで行うと、コマンドを入力するときや、回答を見るときに接続時間料が課金されないので経済的。

例: ZCA/ZCAplus ファイル

(ただし、STNGUIDE ファイルは不可。また HOME, STNMAIL ファイルでも不可)

ただし、TABULATE コマンドで表示できないフィールドが存在するので注意する。

- PN (特許番号)
- AP (出願番号)
- PRN (優先権出願番号)
- RN (CAS 登録番号)
- AN (レコード番号)
- BI (基本索引中のターム)

デリミタ形式で表示すると、MS Excel などの表計算ソフトウェアを利用して、グラフを作成することができる。

B ANALYZE コマンド

検索例 1

=> **FILE ZCA** ← 接続時間料無料のファイルに入る

=> **TABULATE L3 *1** ← TABULATE コマンドを入力する

DISPLAY AS GRID FORMAT (N), Y, OR ? : Y *2
(GRID 形式で表示するか指定)

はじめから Excel でグラフを作成する場合は、TABULATE DELIM と入力

ENTER PRIMARY DISPLAY CODE OR (?) : PAX
(縦軸のフィールドを指定)

ENTER SECONDARY DISPLAY CODE OR (?) : PY.B
(横軸のフィールドを指定)

. を入力すると、() 内の設定になる

DISPLAY PRIMARY (TOP 10), ENTIRE OR ? : . *3
(縦軸の表示する範囲を指定)

PRIMARY SORT ORDER (CURRENT), DOC, ALPHA, OR ? : DOC *4
(縦軸の表示順序を指定-1: DOC, ALPHAなどを指定)

PRIMARY SORT DIRECTION (DEFAULT), A, D, OR ? : D
(縦軸の表示する順序を指定-2: 昇順か降順か)

SECONDARY SORT ORDER (CURRENT), DOC, ALPHA, OR ? : ALPHA
(横軸の表示順序を指定-1: DOC, ALPHAなどを指定)

SECONDARY SORT DIRECTION (DEFAULT), A, D, OR ? : D
(縦軸の表示する順序を指定-2: 昇順か降順か)

Y あるいは . を入力すると課金され
TABULATE コマンドが実行される

A FEE WILL BE CHARGED. PROCEED? (Y), N, OR ? : Y
(課金の確認)

.....
*1 コマンドオプション (TABULATE と同じコマンド行で指定)

DELIMITED : デリミタ形式. MS Excel などの表計算ソフトウェアを利用してグラフを作成する際に利用
ANSWER : タームに回答番号を付与 (GRID 形式では不可)
DETAIL : 検索フィールドを付与
WITH "文字列" : 第一表示フィールドのタームの中で特定の文字を含むタームのみ解析
NOT "文字列" : 第一表示フィールドのタームの中で特定の文字列を含むタームを除いて解析

*2 GRID 形式を指定した場合、第二表示フィールドは、自動的に全範囲となる。

*3 表示範囲

1- または **ENTIRE** : 全ターム
TOP n : 上位 n 件までのターム (デフォルトは TOP 10)
DGT n : レコード数 n 以上のターム
PGT n または **%GT n** : レコード数の全体に占める割合が n % 以上のターム

*4 表示順序 (ソートオプション)

DOCUMENT : レコード数順
- A (昇順) : レコード数の少ない順 (0→9)
- D (降順) : レコード数の多い順 (9→0) (デフォルト)
PERCENT または **%** : レコード数の全体に占める割合順
- A (昇順) : 割合の少ない順 (0→100)
- D (降順) : 割合の多い順 (100→0) (デフォルト)
ALPHABETIC : アルファベット順
- A (昇順) : A→Z, 数字は小さい順 (0→9) (デフォルト)
- D (降順) : Z→A, 数字は大きい順 (9→0)

B ANALYZE コマンド

検索例 1

L3 ANALYZE L1 1- PN IPC PAX PY.B : 3184 TERMS
(AFTER EDITS : 3180TERMS)

GRID 形式

PY. B

PAX	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
(JAOR-C) ORGANO CORP	1	4	6	1	6	20	16	18	14	15	5
(PLAN-R) PLANTS BIOLOG PROTECTION RES INST	0	0	0	36	43	0	0	0	0	0	0
(CONS-R) CONSERVE FRUIT DRYING IND INST	0	0	2	27	5	0	0	0	0	0	0
(KDAG-R) KRASD AGRIC PROD STORAGE AND PROCESSING	0	0	0	16	17	0	0	0	0	0	0
(CHUB-C) CHUBU DENRYOKU KK	3	3	7	5	2	3	6	0	0	0	0
(HITA-C) HITACHI LTD	0	0	0	3	9	3	0	2	7	0	0
(MITO-C) MITSUBISHI HEAVY IND CO LTD	0	0	2	0	1	8	3	3	1	1	2
(SHOX-C) SHOWA ELECTRIC WIRE & CABLE CO	0	0	7	4	1	3	6	0	0	0	0
(MITV-C) MITSUBISHI MATERIALS CORP	0	2	1	0	1	2	2	3	2	5	0
(TOKE-C) TOSHIBA KK	1	5	1	2	1	1	2	1	0	2	1
(UYKU-R) UNIV KUBAN TECHN	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0

PY. B

PAX	1996	1995	1994	1993	1992	1991	1990	1989	1988	1987	1986
(JAOR-C) ORGANO CORP	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
(PLAN-R) PLANTS BIOLOG PROTECTION RES INST	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(CONS-R) CONSERVE FRUIT DRYING IND INST	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(KDAG-R) KRASD AGRIC PROD STORAGE AND PROCESSING	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(CHUB-C) CHUBU DENRYOKU KK	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(HITA-C) HITACHI LTD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(MITO-C) MITSUBISHI HEAVY IND CO LTD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(SHOX-C) SHOWA ELECTRIC WIRE & CABLE CO	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(MITV-C) MITSUBISHI MATERIALS CORP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(TOKE-C) TOSHIBA KK	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(UYKU-R) UNIV KUBAN TECHN	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

:

B ANALYZE コマンド

検索例 1

REFORMAT USING SAME DISPLAY FIELDS? (N), Y, OR ? : Y

(同じフィールド (今回の場合は, PAX, PY.B) で形式を変えて表示する)

Y と入力すると, 表示形式
を変えて何度でも表示しな
おすことができる (無料)

DISPLAY AS GRID FORMAT (N), Y, OR ? : .

(GRID 形式での表示)

EXCHANGE PRIMARY AND SECONDARY DISPLAY FIELDS (N), Y, OR ? : .

(縦軸と横軸を変えて表示する)

DISPLAY PRIMARY (TOP 10), ENTIRE OR ? : TOP 10

DISPLAY SECONDARY (TOP 10), ENTIRE OR ? : ENTIRE

PRIMARY SORT ORDER (CURRENT), DOC, ALPHA, OR ? : DOC

PRIMARY SORT DIRECTION (DEFAULT), A, D, OR ? : D

SECONDARY SORT ORDER (CURRENT), DOC, ALPHA, OR ? : ALP

SECONDARY SORT DIRECTION (DEFAULT), A, D, OR ? : D

L3 ANALYZE L1 1- PN IPC PAX PY.B : 3184 TERMS

(AFTER EDITS : 3180TERMS)

非 GRID 形式

TERM #	#	DOC	% DOC	PAX	PY.B
6	107	13.43		(JAOR-C) ORGANO CORP	
	1	0.13		--	2007
	4	0.50		--	2006
	6	0.75		--	2005
	1	0.13		--	2004
	6	0.75		--	2003
	20	2.51		--	2002
	16	2.01		--	2001
	18	2.26		--	2000
	14	1.76		--	1999
	15	1.88		--	1998
	5	0.63		--	1997
	1	0.13		--	1993
11	79	9.91		(PLAN-R) PLANTS BIOLOG PROTECTION RES INST	
	36	4.52		--	2004
	43	5.40		--	2003
31	34	4.27		(CONS-R) CONSERVE FRUIT DRYING IND INST	
	2	0.25		--	2005
	27	3.39		--	2004
	5	0.63		--	2003
33	33	4.14		(KDAG-R) KRASD AGRIC PROD STORAGE AND PROCESSING	
	16	2.01		--	2004
	17	2.13		--	2003
35	29	3.64		(CHUB-C) CHUBU DENRYOKU KK	
	3	0.38		--	2007
	3	0.38		--	2006
	7	0.88		--	2005
	5	0.63		--	2004
	2	0.25		--	2003
	3	0.38		--	2002
	6	0.75		--	2001

:

B ANALYZE コマンド

検索例 1

REFORMAT USING SAME DISPLAY FIELDS? (N), Y, OR ? : **TABULATE DELIM**

DISPLAY AS GRID FORMAT (N), Y, OR ? : **N**

EXCHANGE PRIMARY AND SECONDARY DISPLAY FIELDS (N), Y, OR ? : **_**

DISPLAY PRIMARY (TOP 10), ENTIRE OR ? : **_**

DISPLAY SECONDARY (TOP 10), ENTIRE OR ? : **ENTIRE**

PRIMARY SORT ORDER (CURRENT), DOC, ALPHA, OR ? : **DOC**

PRIMARY SORT DIRECTION (DEFAULT), A, D, OR ? : **D**

SECONDARY SORT ORDER (CURRENT), DOC, ALPHA, OR ? : **ALP**

SECONDARY SORT DIRECTION (DEFAULT), A, D, OR ? : **D**

L3 ANALYZE L1 1- PN IPC PAX PY.B : 3184 TERMS

(AFTER EDITS : 3180TERMS)

MS Excelなどでグラフを作成したい場合は、TABULATE DELIM と入力する

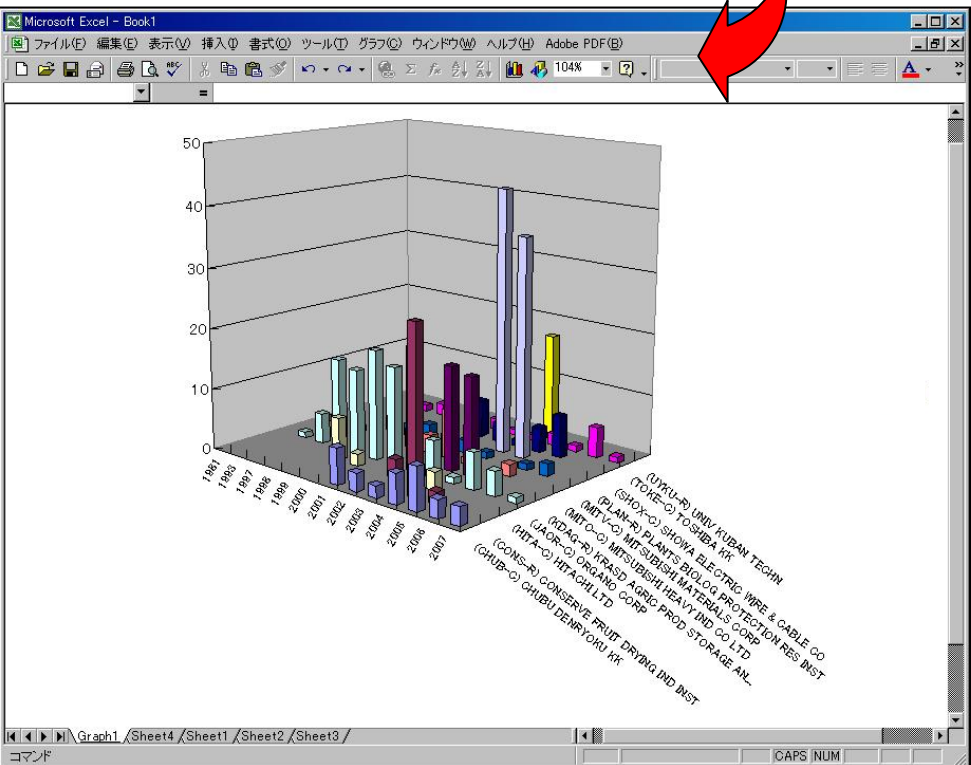


1:0.13; (JAOR-C) ORGANO CORP:2007
 4:0.50; (JAOR-C) ORGANO CORP:2006
 6:0.75; (JAOR-C) ORGANO CORP:2005
 1:0.13; (JAOR-C) ORGANO CORP:2004
 6:0.75; (JAOR-C) ORGANO CORP:2003
 20:2.51; (JAOR-C) ORGANO CORP:2002
 16:2.01; (JAOR-C) ORGANO CORP:2001
 18:2.26; (JAOR-C) ORGANO CORP:2000
 14:1.76; (JAOR-C) ORGANO CORP:1999
 15:1.88; (JAOR-C) ORGANO CORP:1998
 5:0.63; (JAOR-C) ORGANO CORP:1997
 1:0.13; (JAOR-C) ORGANO CORP:1993
 36:4.52; (PLAN-R) PLANTS BIOLOG PROTECTION RES INST:2004
 43:5.40; (PLAN-R) PLANTS BIOLOG PROTECTION RES INST:2004

これを MS Excel にコピー&ペーストする
 (詳細は APPENDIX 参照)

2:0.25; (CONS-R) CONS
 27:3.39; (CONS-R) CONS
 5:0.63; (CONS-R) CONS
 16:2.01; (KDAG-R) KRA
 17:2.13; (KDAG-R) KRA
 3:0.38; (CHUB-C) CHUB
 3:0.38; (CHUB-C) CHUB
 7:0.88; (CHUB-C) CHUB
 5:0.63; (CHUB-C) CHUB
 2:0.25; (CHUB-C) CHUB
 3:0.38; (CHUB-C) CHUB
 6:0.75; (CHUB-C) CHUB
 3:0.38; (HITA-C) HITA
 9:1.13; (HITA-C) HITA
 3:0.38; (HITA-C) HITA
 2:0.25; (HITA-C) HITA
 7:0.88; (HITA-C) HITA
 2:0.25; (MITO-C) MITS
 1:0.13; (MITO-C) MITS

1:0.13; (TOKE-C) TOSH
 2:0.25; (TOKE-C) TOSH
 1:0.13; (TOKE-C) TOSH
 2:0.25; (TOKE-C) TOSH
 1:0.13; (TOKE-C) TOSH
 17:2.13; (UYKU-R) UNIV KUBAN TECHN:2003



REFORMAT USING SAME DISPLAY FIELDS? (N), Y, OR ? : **_**

← 終了する際は、_を入力する

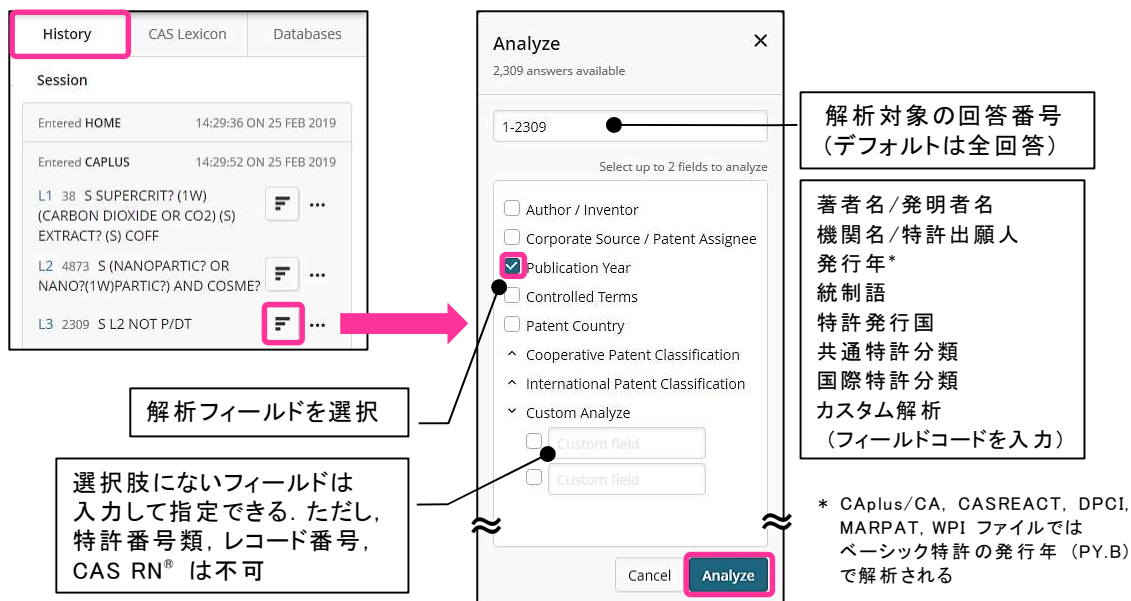
B ANALYZE コマンド

STNnext の解析機能

- STNnext の History タブの各 L 番号には解析ボタンが表示されている。解析画面でフィールドを選択すると、容易に解析を行うことができる。(ANALYZE コマンドが自動的に実行される)

ナノ粒子を利用した化粧品に関する非特許レコードの発行年を解析する (1 フィールドの解析)

- ① History タブの  をクリックし、回答番号とフィールドを指定して Analyze をクリックする。



History CAS Lexicon Databases

Session

Entered HOME 14:29:36 ON 25 FEB 2019

Entered CAPLUS 14:29:52 ON 25 FEB 2019

L1 38 S SUPERCRIT? (1W)
(CARBON DIOXIDE OR CO2) (S)
EXTRACT? (S) COFF

L2 4873 S (NANOPARTIC? OR
NANO?(1W)PARTIC?) AND COSME?

L3 2309 S L2 NOT P/DT

Analyze
2,309 answers available

1-2309

Select up to 2 fields to analyze

☐ Author / Inventor
☐ Corporate Source / Patent Assignee
☒ Publication Year
☐ Controlled Terms
☐ Patent Country
^ Cooperative Patent Classification
^ International Patent Classification
v Custom Analyze
☐ Custom field
☐ Custom field

Cancel Analyze

解析対象の回答番号
(デフォルトは全回答)

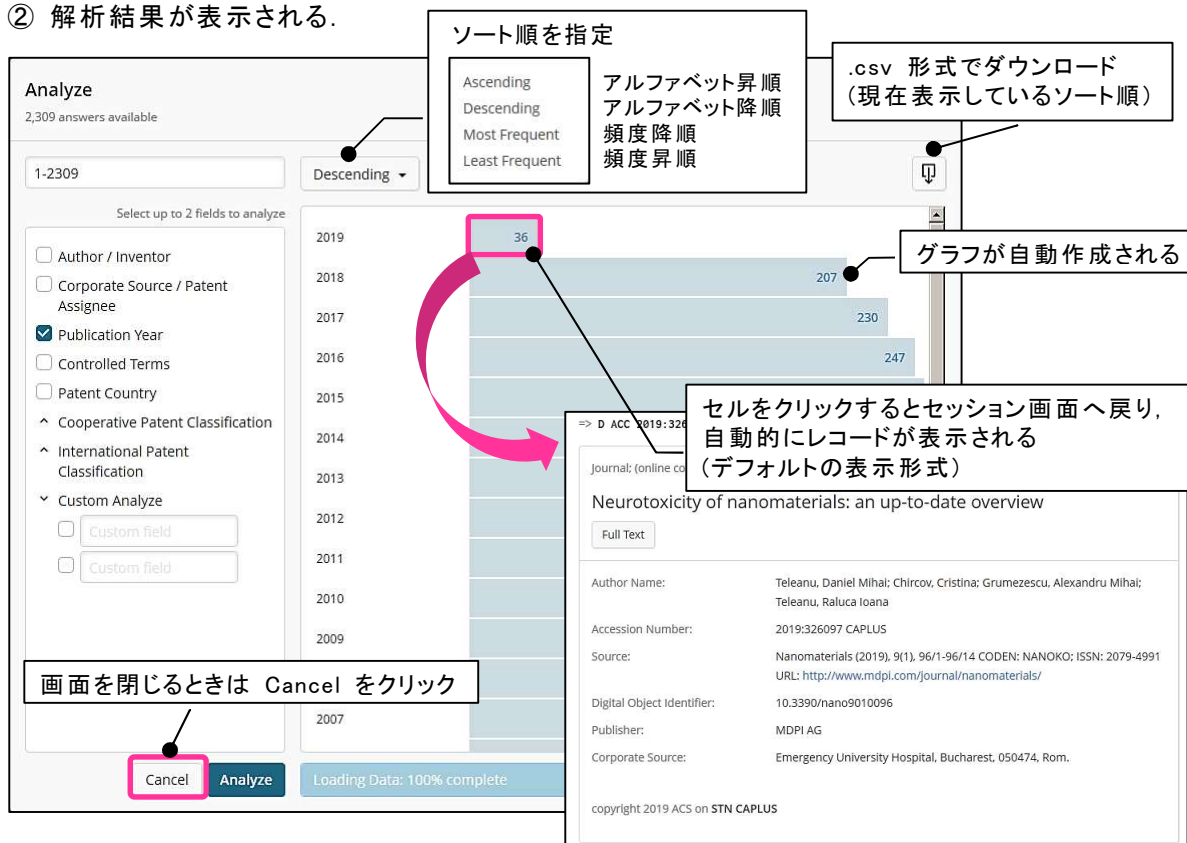
著者名/発明者名
機関名/特許出願人
発行年*
統制語
特許発行国
共通特許分類
国際特許分類
カスタム解析
(フィールドコードを入力)

* CAPLUS/CA, CASREACT, DPCI,
MARPAT, WPI ファイルでは
ベーシック特許の発行年 (PY.B)
で解析される

解析フィールドを選択

選択肢にないフィールドは
入力して指定できる。ただし、
特許番号類、レコード番号、
CAS RN® は不可

- ② 解析結果が表示される。



Analyze
2,309 answers available

1-2309

Select up to 2 fields to analyze

☐ Author / Inventor
☐ Corporate Source / Patent Assignee
☒ Publication Year
☐ Controlled Terms
☐ Patent Country
^ Cooperative Patent Classification
^ International Patent Classification
v Custom Analyze
☐ Custom field
☐ Custom field

Ascending
Descending
Most Frequent
Least Frequent

アルファベット昇順
アルファベット降順
頻度降順
頻度昇順

.csv 形式でダウンロード
(現在表示しているソート順)

グラフが自動作成される

セルをクリックするとセッション画面へ戻り、
自動的にレコードが表示される
(デフォルトの表示形式)

画面を閉じるときは Cancel をクリック

Cancel Analyze

Loading Data: 100% complete

2019 36
2018 207
2017 230
2016 247
2015
2014
2013
2012
2011
2010
2009

Journal: (online co
=> D ACC 2019:324

Neurotoxicity of nanomaterials: an up-to-date overview

Full Text

Author Name: Teleanu, Daniel Mihai; Chircov, Cristina; Grumezescu, Alexandru Mihai; Teleanu, Raluca Ioana

Accession Number: 2019:326097 CAPLUS

Source: Nanomaterials (2019), 9(1), 96/1-96/14 CODEN: NANOKO; ISSN: 2079-4991
URL: http://www.mdpi.com/journal/nanomaterials/

Digital Object Identifier: 10.3390/nano9010096

Publisher: MDPI AG

Corporate Source: Emergency University Hospital, Bucharest, 050474, Rom.

copyright 2019 ACS on STN CAPLUS

B ANALYZE コマンド

参考: STNext の解析機能

■ セッション画面や検索記録ファイルには ANALYZE および DISPLAY コマンドが表示される。

- ・ セッション画面では, View all をクリックすると解析結果がデリミタ形式で表示される。

=> ANALYZE L3 1-2309 PY.B

ANALYZE IS APPROXIMATELY 63% COMPLETE

L5 ANALYZE L3 1-2309 PY.B : 29 TERMS

=> DISPLAY L5 ENTIRE DELIMITED ANSWERS

View all

解析結果は画面上では非表示だが, 検索記録には含まれる。
View all をクリックすると, 画面上でも表示できる

<Transcript ファイル>

=> ANALYZE L3 1-2309 PY.B

ANALYZE IS APPROXIMATELY 63% COMPLETE

L5 ANALYZE L3 1-2309 PY.B : 29 TERMS

=> DISPLAY L5 ENTIRE DELIMITED ANSWERS

L5 ANALYZE L3 1-2309 PY.B : 29 TERMS

1;251;251;10.87;2015;37,39,239,241,245,259,264,266,270,274,276,279,280,281,282,285,286,333,384,385,392,404,462,469,475,492,523,544,556,569,570,571,584,660,662,669,676,678,680,686,691,695,701,705,709,713,716,717,720,721,723,728,729,730,732,734, ...

:

2;247;247;10.70;2016;29,146,147,153,165,191,193,203,207,208,209,210,219,220,224,235,236,237,238,240,242,243,249,260,261,262,263,265,267,268,273,283,288,289,290,292,334,337,338,339,340,343,344,352,356,363,371,380,382,388,440,450,454,459,460,461, ...

:

デリミタ形式, 回答番号
オプション付きで表示

Transcript ファイルには
解析結果がすべて表示
される

■ ANALYZE 結果の L 番号には View ボタンが表示され, 同一セッション中は何度でも解析結果を再表示できる。

History | CAS Lexicon | Databases

Session

Entered HOME 14:29:36 ON 25 FEB 2019

Entered CAPLUS 14:29:52 ON 25 FEB 2019

L1 38 S SUPERCRIT? (1W)
(CARBON DIOXIDE OR CO2) (S)
EXTRACT? (S) COFF

L2 4873 S (NANOPARTIC? OR
NANO?(1W)PARTIC?) AND COSME?

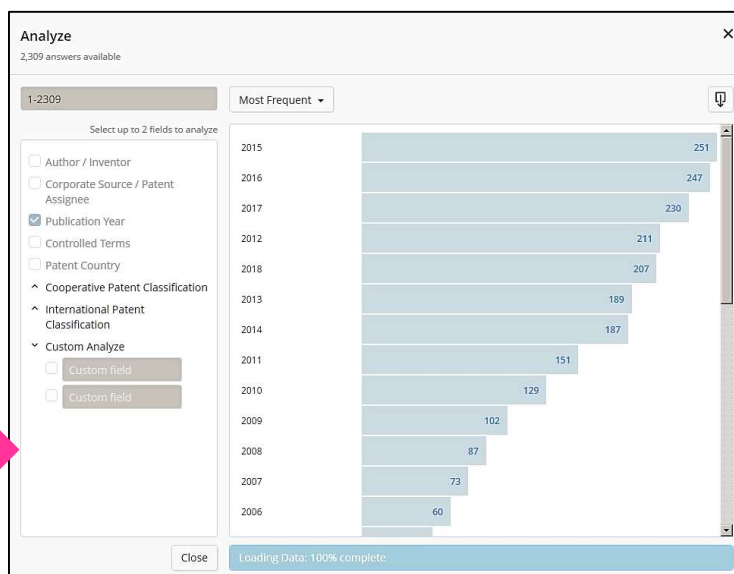
L3 2309 S L2 NOT P/DT

L4 ANALYZE L3 1- CT RN : 5596 TERMS

Entered CAPLUS 14:36:18 ON 25 FEB 2019

L5 ANALYZE L3 1-2309 PY.B : 29
TERMS

View



B ANALYZE コマンド

STNNext の解析機能

自動車の自動運転に関してクレームされた特許の出願人コード (PACO) とベーシック特許の発行年 (PY.B) の解析 (2 フィールドの解析)

- ① History タブの  をクリックし、回答番号とフィールドを指定して Analyze をクリックする。

History | CAS Lexicon | Databases

Session

Entered HOME 16:41:23 ON 25 FEB 2019

Entered WPIINDEX 16:42:12 ON 25 FEB 2019

L1 2586 S ((AUTOMAT? (W) (OPERAT? OR DRIV? OR CRUIS?) OR SELF DRIV?) (2



Analyze ×

2,586 answers available

1-2586

Select up to 2 fields to analyze

- ☐ Author / Inventor
- ☐ Corporate Source / Patent Assignee
- ☒ Publication Year
- ☐ Controlled Terms
- ☐ Patent Country
- ^ Cooperative Patent Classification
- ^ International Patent Classification
- ^ Custom Analyze
 - ☒ PC.B
 - ☐ Custom field

Cancel **Analyze**

2 つまでチェックを入れられる

検索式

=> S ((AUTOMAT? (W) (OPERAT? OR DRIV? OR CRUIS?) OR SELF DRIV?) (2A) (CAR OR VEHICLE OR AUTOMOBILE)) /CLM

*** CAlus/CA, CASREACT, DPCI, MARPAT, WPI ファイルではベーシック特許の発行年 (PY.B) で解析される**

選択肢にないフィールドは入力して指定できる。ただし、特許番号類、レコード番号、CAS RN® は不可

- ② 解析結果が表示される。

昇順/降順の指定

Rows

☒ Ascending

☐ Descending

Columns

☒ Ascending

☐ Descending

縦軸と横軸の入れ替え ×

Switch Axes

.csv 形式ダウンロード

↑ Descending, → Ascending

	CA	CN	DE	EP	FR
2019		3	7	2	
2018	1	532	34	23	
2017		266	65	22	1
2016	1	166	38	14	
2015		76	21	3	
2014		34	14	1	
2013		45	4	6	1
2012		43	5	2	
		12	6		
		13	4	1	
		9	3	1	2

件数により色分けされている

解析結果の表が作成される。セルをクリックすると対応するレコードが表示される

Cancel **Analyze** Loading Data: 100% complete

B ANALYZE コマンド

STNext の解析機能

- 2 フィールドを指定した場合は、ANALYZE および TABULATE コマンドが自動実行される。

- ・ セッション画面や検索記録には

=> ANALYZE L1 1-2586 PY.B PC.B

ANALYZE IS APPROXIMATELY 36% COMPLETE

ANALYZE IS APPROXIMATELY 67% COMPLETE

ANALYZE IS APPROXIMATELY 95% COMPLETE

L2 ANALYZE L1 1-2586 PY.B PC.B : 45 TERMS

=> TABULATE L2 ENTIRE PY.B ENTIRE PC.B DELIMITED ANSWERS ●

デリミタ形式、回答番号
オプション付き

DISPLAY AS GRID FORMAT (N), Y, OR ? : N

PRIMARY SORT ORDER (CURRENT), DOC, ALPHA, OR ? : ALPHA

PRIMARY SORT DIRECTION (DEFAULT), A, D, OR ? : A

SECONDARY SORT ORDER (CURRENT), DOC, ALPHA, OR ? : ALPHA

SECONDARY SORT DIRECTION (DEFAULT), A, D, OR ? : A

A FEE WILL BE CHARGED. PROCEED? (Y), N, OR ? : Y

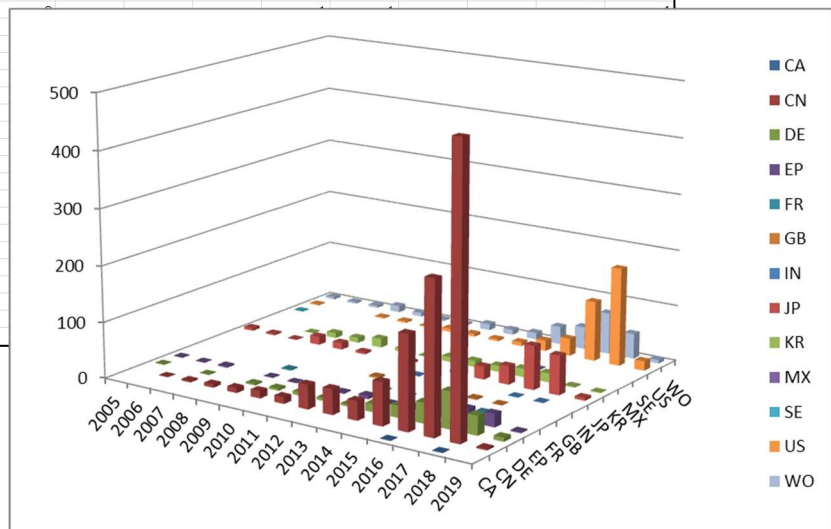
View all Y

REFORMAT USING SAME DISPLAY FIELDS? (N), Y, OR ? : N

=>

- ・ ダウンロードした csv 形式のデータは、画面で表示したデータと同様の表形式になっているので、様々な形式に加工できる。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1		CA	CN	DE	EP	FR	GB	IN	JP	KR	MX	SE	US	WO
2	2019			3	7	2			5	1			17	6
3	2018		1	532	34	23			70	2			175	45
4	2017			266	65	22	1	1	78	16			107	74
5	2016		1	166	36	14		2	33	15	1		31	40
6	2015			76	21	3	1	1	23	11			19	32
7	2014			34	14	1	1		6	11			7	12
8	2013			45	4	6	1		2	9			4	9
9	2012			43	5	2		3	4	1			5	11
10	2011			12	6					6			6	3
11	2010			13	4	1			4	16			2	3
12	2009			9	3	1	2		12	9			3	7
13	2008			6					15	9			2	12
14	2007			3	1									
15	2006			1										
16	2005				1									
17	2004													
18	2003													
19	2002													
20	2001				1									
21	2000													
22	1999				3									
23	1998				1									
24	1997				2									
25	1996													
26	1995													
27	1994				1									
28	1992													
29	1991				1									
30	1989													
31	1987				1									
32	1985				1									
33	1981													



B ANALYZE コマンド

検索例 2

- 検索例 2: 制汗剤に関する文献で、よく索引されている物質を CAplus ファイルで調査する。

=> FILE CAPLUS

=> SET PLU ON; SET ABB ON

=> S ANTIPERSPIR? OR ANTISUDOR? ← キーワードでの検索
L1 2766 ANTIPERSPIR? OR ANTISUDOR?

=> ANA RN ← 直前の L 番号の CAS 登録番号を解析する

ANALYZE IS APPROXIMATELY 37% COMPLETE
ANALYZE IS APPROXIMATELY 39% COMPLETE
ANALYZE IS APPROXIMATELY 58% COMPLETE
ANALYZE IS APPROXIMATELY 83% COMPLETE
L2 ANALYZE L1 1- RN : 13953 TERMS

件数やターム数が多い場合は、
このようなメッセージが表示される

ターム数が増えやすいので注意

=> D DOC TOP 30 ← 直前の L 番号のレコード数の多い上位 30 件を表示する

L2 ANALYZE L1 1- RN : 13953 TERMS

TERM #	# OCC	# DOC	% DOC	RN
1	664	631	22.81	1327-41-9
2	282	272	9.83	57-55-6
3	286	270	9.76	7429-90-5
4	233	228	8.24	56-81-5
5	207	207	7.48	64-17-5
6	203	199	7.19	7631-86-9
7	202	198	7.16	7446-70-0
8	205	196	7.09	134910-86-4
9	188	182	6.58	7440-67-7
10	183	182	6.58	541-02-6
11	191	175	6.33	25322-68-3
12	178	163	5.89	56-40-6
13	156	148	5.35	9006-65-9
14	147	147	5.31	14807-96-6
15	145	145	5.24	112-92-5
16	128	124	4.48	134375-99-8
17	136	120	4.34	9005-25-8
18	120	119	4.30	3380-34-5
19	116	115	4.16	110-27-0
20	118	113	4.09	25265-71-8
21	113	112	4.05	9002-88-4
22	108	103	3.72	65-85-0
23	103	102	3.69	9016-00-6
24	96	96	3.47	1314-13-2
		:		

ANALYZE コマンドで抽出したタームについて、さらに SELECT/ANALYZE コマンドを実行すると、特定のタームだけを抽出し、それを検索に用いることができる

<応用編>

100 件以上の文献に索引されている物質について、REGISTRY ファイルでその構造を確認する

B ANALYZE コマンド

検索例 2

方法 1: SELECT コマンドを利用する方法 (二次的 SELECT)

=> **SEL L2 1-23** ← L2 (ANALYZE の結果の L 番号) の 1 番目から
E1 THROUGH E23 ASSIGNED 23 番目のタームを抽出する (無料)

=> D SEL
E1 664 1327-41-9/RN
E2 286 7429-90-5/RN
E3 282 57-55-6/RN
:
E23 103 9016-00-6/RN



ポイント

ANALYZE したターム (今回の場合は CAS 登録番号) を抽出し, E 番号を付与することができる. (保存した ANALYZE の結果に対しても可能)

二次的 SELECT コマンドは, どのファイルでも実行可能

抽出可能なターム数の制限は 999 ターム

※ 二次的 SELECT コマンドの入力方法

=> **SEL L 番号 抽出範囲 抽出オプション**

・ 抽出範囲

1- または ENTIRE : 全ターム

ターム番号 (m-n) : 指定した範囲のターム

- 保存した ANALYZE の回答には指定不可の抽出範囲

TOP n : 上位 10 位までのターム

OGT n : 出現頻度が n より多い (n は含まない) ターム

DGT n : レコード数が n より多い (n は含まない) ターム

PGT n または %GT n : レコード数の全体に占める割合が n % より多い (n は含まない) ターム

・ 抽出オプション (ターム番号で指定するのが大変なときなどに利用すると便利)

WITH “文字列” 特定の文字列 (20 文字まで指定可能) を含むタームの抽出

NOT “文字列” 特定の文字列 (20 文字まで指定可能) を含まないタームの抽出

LENGTH n 抽出・解析する文字数の限定 (先頭から n 文字: n は文字数)

※ 抽出するフィールド (項目) を指定できないので, 複数フィールドの ANALYZE の結果に対しては, 抽出オプションを使うとよい. (活用例は APPENDIX 参照)

B ANALYZE コマンド

検索例 2

=> FILE REGISTRY

=> S E1-E23

L3 23 (1327-41-9/RN OR 7429-90-5/RN OR 57-55-6/RN OR 56-81-5/RN OR 64-17-5/RN OR 134910-86-4/RN OR 7631-86-9/RN OR 7446-70-0/RN OR 253-22-68-3/RN OR 7440-67-7/RN OR 541-02-6/RN OR 56-40-6/RN OR 9006-65-9/RN OR 14807-96-6/RN OR 112-92-5/RN OR 9005-25-8/RN OR 13437-5-99-8/RN OR 3380-34-5/RN OR 25265-71-8/RN OR 110-27-0/RN OR 900-2-88-4/RN OR 65-85-0/RN OR 9016-00-6/RN)

=> D SCAN

L3 23 ANSWERS REGISTRY COPYRIGHT 2007 ACS on STN
IN Aluminum Zirconium Trichlorohydrex Gly
MF Unspecified
CI MAN

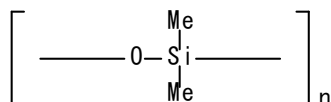
検索フィールドを変える場合には、E 番号の後ろに指定する(=> S E1-E23/CRN)

*** STRUCTURE DIAGRAM IS NOT AVAILABLE ***

PROPERTY DATA AVAILABLE IN THE 'PROP' FORMAT

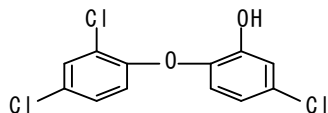
HOW MANY MORE ANSWERS DO YOU WISH TO SCAN? (1):22

L3 23 ANSWERS REGISTRY COPYRIGHT 2007 ACS on STN
IN Poly[oxy(dimethylsilylene)]
ADDITIONAL NAMES NOT AVAILABLE IN THIS FORMAT
MF (C2 H6 O Si)_n
CI PMS, COM
RELATED POLYMERS AVAILABLE WITH POLYLINK



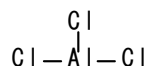
PROPERTY DATA AVAILABLE IN THE 'PROP' FORMAT

L3 23 ANSWERS REGISTRY COPYRIGHT 2007 ACS on STN
IN Phenol, 5-chloro-2-(2,4-dichlorophenoxy)-
MF C12 H7 Cl3 O2
CI COM



PROPERTY DATA AVAILABLE IN THE 'PROP' FORMAT

L3 23 ANSWERS REGISTRY COPYRIGHT 2007 ACS on STN
IN Aluminum chloride (AlCl₃)
MF Al Cl₃
CI COM



ALL ANSWERS HAVE BEEN SCANNED

B ANALYZE コマンド

検索例 2

方法 2: ANALYZE コマンドを利用する方法 (二次的 ANALYZE)

=> **ANA L2 DGT 99** ← L2 (ANALYZE の結果の L 番号) 中, レコード数が
L4 ANALYZE L2 DGT 99 : 23 TERMS 100 以上のタームを抽出する (無料)



ポイント

ANALYZE したターム (今回の場合は CAS 登録番号) を, さらに抽出・解析することができる。(保存した ANALYZE の結果に対しても可能)

二次的 ANALYZE コマンドはどのファイルでも実行可能

二次的 SELECT コマンドより便利な点

- 抽出可能なターム数の制限は 50,000 タームなので, SELECT コマンドより, 多くのタームを抜き出すことができる.
- 抽出したタームの解析結果を入手できる

※ 二次的 ANALYZE コマンドの入力方法

=> **ANA L 番号 抽出範囲 抽出オプション**

・ 抽出範囲

1- または ENTIRE : 全ターム
ターム番号 (m-n) : 指定した範囲のターム

- 保存した ANALYZE の回答には指定不可の抽出範囲

TOP n : 上位 10 位までのターム
OGT n : 出現頻度が n より多い (n は含まない) ターム
DGT n : レコード数が n より多い (n は含まない) ターム
PGT n または %GT n : レコード数の全体に占める割合が n % より多い (n は含まない) ターム

・ 抽出オプション (ターム番号で指定するのが大変なときなどに利用すると便利)

WITH “文字列” 特定の文字列 (20 文字まで指定可能) を含むタームの抽出
NOT “文字列” 特定の文字列 (20 文字まで指定可能) を含まないタームの抽出
LENGTH n 抽出・解析する文字数の限定 (先頭から n 文字: n は文字数)

- * 抽出するフィールド (項目) を指定できないので, 複数フィールドの ANALYZE の結果に対しては, 抽出オプションを使うとよい。(活用例は APPENDIX 参照)

B ANALYZE コマンド

検索例 2

=> **D L4 DET** ← L4 の解析した全ての項目，頻度順で上位 10 ターム表示
 L4 ANALYZE L2 DGT 99 : 23 TERMS (検索フィールドつき)

TERM #	# OCC	# DOC	% DOC	RN
1	664	631	22.81	1327-41-5/RN
2	286	270	9.76	7429-90-5/RN
3	282	272	9.83	57-55-6/RN
4	233	228	8.24	56-81-5/RN
5	207	207	7.48	64-17-5/RN
6	205	196	7.09	134910-86-4/RN
7	203	199	7.19	7631-86-9/RN
8	202	198	7.16	7446-70-0/RN
9	191	175	6.33	25322-68-3/RN
10	188	182	6.58	7440-67-7/RN

DET を入力すると，検索に利用する際の検索フィールドを確認できる

=> FILE REGISTRY

=> **S L4** ← L 番号で検索する (CAS 登録番号検索は無料)

L5 23 L4
 ALL TERMS IN L4 RETRIEVED.

=> **D SCAN**

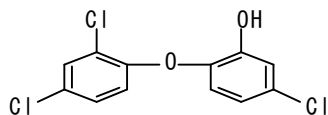
L5 23 ANSWERS REGISTRY COPYRIGHT 2007 ACS on STN
 IN Aluminum Zirconium Trichlorohydrex Gly
 MF Unspecified
 CI MAN

*** STRUCTURE DIAGRAM IS NOT AVAILABLE ***

PROPERTY DATA AVAILABLE IN THE 'PROP' FORMAT

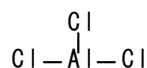
HOW MANY MORE ANSWERS DO YOU WISH TO SCAN? (1):22

L5 23 ANSWERS REGISTRY COPYRIGHT 2007 ACS on STN
 IN Phenol, 5-chloro-2-(2,4-dichlorophenoxy)-
 MF C12 H7 Cl3 O2
 CI COM



PROPERTY DATA AVAILABLE IN THE 'PROP' FORMAT

L5 23 ANSWERS REGISTRY COPYRIGHT 2007 ACS on STN
 IN Aluminum chloride (AlCl3)
 MF Al Cl3
 CI COM



ALL ANSWERS HAVE BEEN SCANNED

検索フィールドを変える場合には，L 番号の後ろに指定する (=> S L4/CRN)

C TRANSFER コマンド

C TRANSFER コマンド

概要

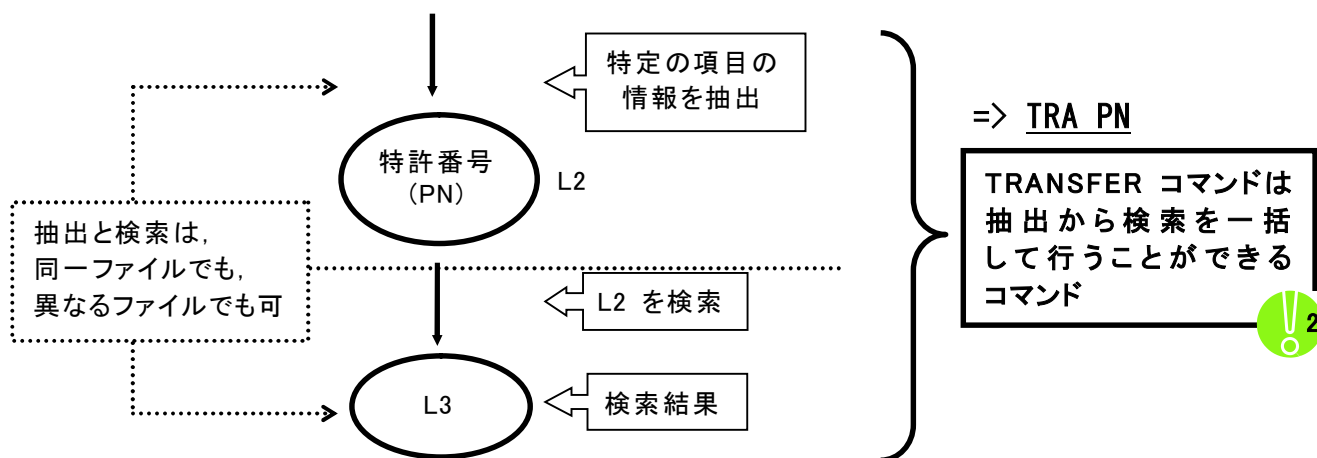
■ STN で使える応用コマンド

コマンド	内容
<u>SELECT</u>	L 番号の中から目的の回答を「抽出」
<u>ANALYZE</u>	L 番号の中から目的の回答を「抽出・解析」  を強化したコマンド
<u>TRANSFER</u>	L 番号の中から目的の回答を「抽出・検索」  を強化したコマンド

- TRANSFER コマンドは、回答の中から特定のフィールド（情報）を抽出・解析したのち、さらに自動的に検索を実行するコマンドである。

=> FILE CAPLUS

=> S (SOLID OXIDE (L) FUEL CELL OR SOFC) AND JP/PC
 L1 1309 (SOLID OXIDE (L) FUEL CELL OR SOFC) AND JP/PC



ポイント

特定の項目の情報を抽出するファイルと、検索するファイルは分けることができるので特定のタームを他のファイルで簡単に利用することができる。

使用例：

REGISTRY ファイルに多数含まれている化学物質名の同義名を抽出して、MEDLINE ファイルや WPI ファイルで検索する。

使用例のように、抽出と検索を異なるファイルで実行したい場合には、TRANSFER コマンドの前に、必ず検索するファイルに入る。

C TRANSFER コマンド

概要

■ TRANSFER コマンドの入力方法

=> TRA L 番号 回答番号 抽出フィールド 抽出オプション /検索フィールド

① ② ③ ④ ⑤

■ 各種設定項目について

① **L 番号** : どの L 番号の回答を ANALYZE するのかを指定

- 指定しなかったときには…… 直前の L 番号

② **回答番号** : L 番号の中の解析する対象を回答番号で指定

- 指定しなかったときには… **全件**

- n / n-m / n- / n,m のようにさまざまな形で回答番号を指定できる

- 最高 50,000 回答まで解析可能 (ただし、タームの制限もあるので注意)

③ **抽出フィールド** : 抽出・解析したい項目を指定 (最大 5 項目まで指定可能)

- 指定しなかったときは… 各ファイルのデフォルトのフィールド

- 最大 5 項目 (フィールド) まで. 項目間はスペースまたはコンマで区切って指定

- ヒットした… というような指定もできる (例: HIT RN)

(注: 複数フィールドを指定した際に, HIT を用いるとすべてのフィールドに適応される)

抽出フィールドは、サマリーシートで調べることができる

SELECT, ANALYZE, SORT コマンドは、回答セットの指定したフィールドから抽出した語句にE番号を付与します。
ANALYZEコマンドは、回答セットの指定したフィールドから抽出した語句にL番号を付与します。
SORTコマンドは、回答セットの指定したフィールドから抽出した語句にE番号を付与します。

ここで、Y が付与されているフィールド (項目) は TRANSFER 可能です。

フィールド	フィールドコード	ANALYZE/SELECT ¹⁾	SORT
非優先分子式	AF	Y ²⁾	N
非優先CAS登録番号	AR	Y ³⁾	N
沸点	BP	N	
CAPLUS 資料種類	DT, CA	Y	
化学物質完全名称	CN	Y ⁴⁾	
クラス識別子	CI	Y	
成分クラス識別子	CCI	Y ⁵⁾	N
CAS登録番号および名称	CHEM	Y ⁶⁾ (デフォルト)	N
成分分子式	CMF	Y ⁷⁾	N
成分CAS登録番号	CRN	Y	N

REGISTRY ファイルで、抽出フィールドを指定しない場合は、CHEM が選択される

C TRANSFER コマンド

概要

④ 抽出オプション : 抽出・解析したい項目の中で、対象をさらに特定のタームに限定

- 指定しなかったときは・・・なし
- WITH “文字列” 特定の文字列（20 文字まで指定可能）を含むタームの抽出
- NOT “文字列” 特定の文字列（20 文字まで指定可能）を含まないタームの抽出
- LENGTH n 抽出・解析する文字数の限定（先頭から n 文字：n は文字数）

注意点：

- * WITH と NOT は併用不可。
- * 1 フィールドの場合には、WITH/NOT と LEN の併用は可能
- * 複数フィールドの場合には、WITH/NOT と LEN の併用は不可
- * 複数フィールドで LEN を指定する場合には、各フィールドに対してそれぞれ入力する。
一つしか LEN を入力しないと、最初のフィールドのみ適用される

⑤ 検索フィールド : 検索する際の検索フィールドを指定

- 指定しなかったときは・・・抽出したときに付与されるフィールド
（詳細は各データベースサマリーシート参照）
- ☛ 指定するときは、検索フィールドの前に必ず 1 スペース以上空ける

例：=> FILE INPADOCDB

=> S FUEL CELL AND SOLID OXIDE OR SOFC

L1 2685 FUEL CELL AND SOLID OXIDE OR SOFC

=> TRA L1 PN /RPN

■ TRANSFER コマンドのシステム制限

- ・ 制限値 50,000 件
（ただし、最大 50,000 タームまで。なお、マルチファイル環境下では、最大 2997 ターム）



ポイント

SELECT コマンドよりも多くのタームを検索に用いることができる。

SELECT コマンドは、検索する前にタームを表示させることができるが、TRANSFER コマンドは、検索した後にのみタームを表示できる。

【参考】従量制の方へ

1回あたりの料金体系。

検索語料がかかるファイルで TRANSFER コマンドを入力すると、抽出したターム1つにつき検索語料が課金されます。

=> SET NOT SEA <金額> コマンドを入力しておくと、検索料金の警告が出る。

C TRANSFER コマンド

入力例

よく使う
入力例

■ TRANSFER コマンド入力例

- ・ REGISTRY ファイルに収録されている様々な化学名称を利用した検索を行う場合

=> FILE #####

=> TRA L 番号 CHEM * ##### は名称検索するファイル名

=> TRA L 番号 NAME * L 番号は REGISTRY ファイルの L 番号

- CHEM は REGISTRY ファイルの CAS 登録番号と CA 索引名を除く化学物質名を抽出・検索する。したがって、CAS 登録番号付与率が 100% でないファイルに利用するとよい。(例: PHAR ファイル)
- NAME は REGISTRY ファイルの CA 索引名を除く化学物質名を抽出・検索する。したがって、CAS 登録番号が付与されていないファイルに利用するとよい。(例: WPI ファイル)

- ・ ある文献を引用している文献を調べる方法

=> FILE HCAPLUS (HCAplus/HCA ファイル あるいは SciSearch ファイル)

=> TRA L 番号 CIT

- 引用情報検索をするには、CIT フィールドを用いる。
- 用いる L 番号は、CAplus/CA ファイルや、SciSearch ファイル以外の L 番号でも可能

C TRANSFER コマンド

入力例

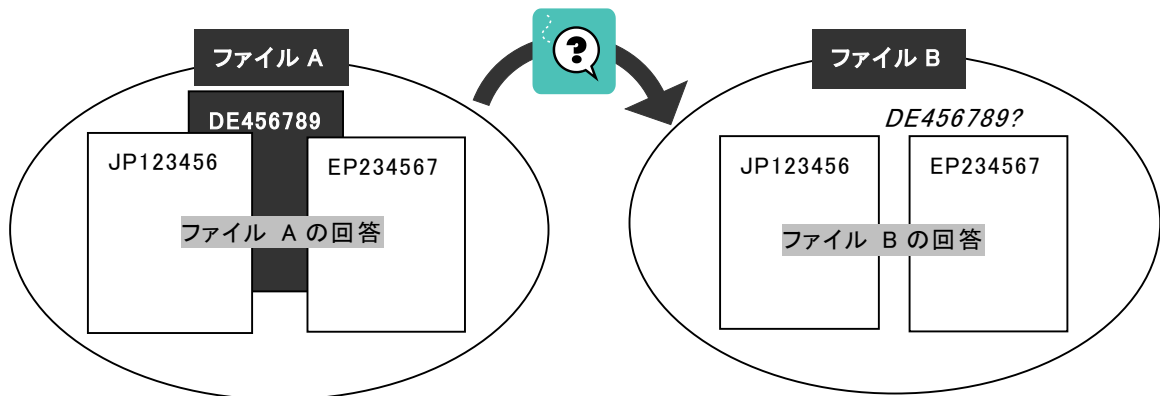
よく使う
入力例

- あるファイルで検索した結果の特許番号を、他のファイルで検索し、回答を表示する。

```
=> FILE A  
L1      100  
  
=> FILE B  
  
=> SET AUD ON  
  
=> TRA L1 PN  
  
=> TRA L1 PN WITH "KR"
```

- 各特許ファイルでは、収録国、収録年、収録分野、タイムラグ等が異なる。したがって、特許番号を用いたクロスオーバー検索を実行すると、ヒットしない特許番号が存在することがある。

例えば、ファイル A で得られた DE456789 を、ファイル B で検索しても、DE456789 の特許番号が、そもそもファイル B に収録されていない場合にはヒットしない。



- SET AUD ON を TRANSFER コマンドを入力する前に設定すれば、ヒットしなかった特許番号を知ることができる。
- CAplus/CA ファイルや WPI ファイルで得られた特許の中で特定の国の抄録や全文を知りたいときや、複数の特許データベース間の重複除去などに利用する。

C TRANSFER コマンド

検索例 1

■ 検索例 1: 下記の誘導体に関する文献を MEDLINE ファイルで検索する

=> FILE REGISTRY

=>

Uploading C:\STNEXP\Queries\TAMIFLU.str

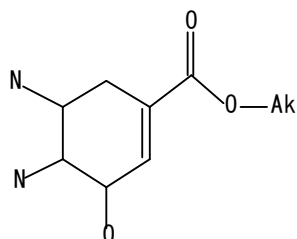
L1 STRUCTURE UPLOADED

=> D QUE

← アップロードした質問式を確認

L1

STR



Structure attributes must be viewed using STN Express query preparation.

=> S L1

← サンプル検索

FULL FILE PROJECTIONS: ONLINE **COMPLETE**
BATCH **COMPLETE**

PROJECTED ITERATIONS: 200 TO 800

PROJECTED ANSWERS: 11 TO 389

L2 10 SEA SSS SAM L1

=> S L1 FUL

← フルファイル検索

L3 153 SEA SSS FUL L1

=> FILE MEDLINE

← MEDLINE ファイルに入る

=> TRA L3 CHEM

← CAS 登録番号と名称を抽出し自動的に検索

L4 TRANSFER L3 1- CHEM : 168 TERMS

L5 607 L4

CAS 登録番号と名称で検索した結果の回答

=> D TRI 1 100

L5 ANSWER 1 OF 607 MEDLINE on STN

TI [Impact of the rapid diagnosis downtown in the assumption of responsibility of the children in period of influenza].
Impact des tests de diagnostic rapide en ville dans la prise en charge des enfants en periode de grippe.

L5 ANSWER 100 OF 607 MEDLINE on STN

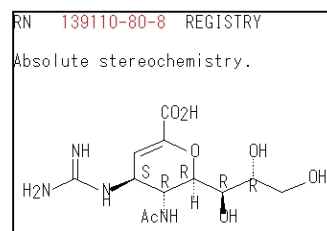
TI Evolution of the susceptibility to antiviral drugs of A/H3N2 influenza viruses isolated in France from 2002 to 2005.

CT *Antiviral Agents: PD, pharmacology
Drug Resistance, Viral
*Enzyme Inhibitors: PD, pharmacology
Evolution, Molecular

C TRANSFER コマンド

検索例 1

France: EP, epidemiology
 *Influenza A Virus, H3N2 Subtype: DE, drug effects
 Influenza A Virus, H3N2 Subtype: EN, enzymology
 Inhibitory Concentration 50
 Neuraminidase: AI, antagonists & inhibitors
 *Neuraminidase: DE, drug effects
Oseltamivir: PD, pharmacology
 Zanamivir: PD, pharmacology
 RN 139110-80-8 (Zanamivir)
 CN 0 (Antiviral Agents); 0 (Enzyme Inhibitors); 0 (**Oseltamivir**); EC
 3.2.1.18 (Neuraminidase)



=> **D L4 1-** ← 抽出・検索したタームを見ることができる (無料)
 L4 TRA L3 1- CHEM : 168 TERMS

TERM # TERMS

 1 ETHYL (3R, 4R, 5S)-4-N-ACETYL (1, 1-DIMETHYLETHYL) AMINO-5-N, N-DIALLYLAMINO-3-
 2 ETHYL (3R, 4R, 5S)-4-N-ACETYL (1, 1-DIMETHYLETHYL) AMINO-5-N, N-DIALLYLAMINO-3-
 3 ETHYL (3R, 4R, 5S)-4-N-ACETYLAMINO-5-AMINO-3- (1-ETHYLPROPOXY) -1-CYCLOHEXENE
 4 ETHYL (3R, 4R, 5S)-4-N-ACETYLAMINO-5-N, N-DIALLYLAMINO-3- (1-ETHYLPROPOXY) -1-
 5 ETHYL (3R, 4R, 5S)-5-N, N-DIALLYLAMINO-4- (1, 1-DIMETHYLETHYL) AMINO-3- (1-ETHYL
 6 GS 4104/BI
 7 GS 4109/BI
 8 OSELTAMIR PHOSPHATE/BI
 9 OSELTAMIVIR PHOSPHATE/BI
 10 **OSELTAMIVIR/BI**
 :
 165 876014-36-7/BI
 166 903907-74-4/BI
 167 903907-89-1/BI
 168 903907-90-4/BI
 ***** END OF L4 ***

C TRANSFER コマンド

検索例 2

- 検索例 2: UNILEVER 社のナノテクノロジーを利用した化粧品関連特許を CPlus ファイルおよび WPI ファイルで検索する。

```
=> FILE CAPLUS          ← CPlus ファイルに入る

=> SET PLU ON; SET ABB ON  ← 複数形や標準略語を自動的に含めて検索する設定

=> S COSME? AND NANO?    ← キーワードでの検索
L1      11530 COSME? AND NANO?

=> S L1 AND UNILEVER/PA   ← 特許出願人での検索
L2      28 L1 AND UNILEVER/PA

=> FILE WPINDEX          ← WPI ファイルに入る

=> S COSME? AND NANO?    ← キーワードでの検索
L3      6728 COSME? AND NANO?

=> S L3 AND (UNILEVER/PA OR UNIL/PACO) ← 特許出願人での検索
L4      12 L3 AND (UNILEVER/PA OR UNIL/PACO)

=> SET AUD ON            ← ヒットしなかったタームの集合を作る設定
                               (WPI ファイルに収録されていない特許番号を表示)

=> TRA L2 PN              ← 特許番号を抽出・検索

L5      TRANSFER L2 1- PN :      173 TERMS
L6      32 L5
L7      QUE TERMS FROM L5 WITH NO HITS:      11 TERMS

=> S L6 OR L4
L8      42 L6 OR L4

=> D L8 1- MAX            ← WPI ファイルでヒットした回答を表示する

L8      ANSWER 1 OF 42 WPINDEX COPYRIGHT 2020 CLARIVATE ANALYTICS on STN
AN      2020-42081B [2020043] WPINDEX Full-text
ED      20200529
TI      Antiperspirant composition for reduction of bodily perspiration, comprises
aqueous dispersion of non-thermoplastic polymeric material having predetermined
particle size, surfactant, and aqueous cosmetically acceptable carrier
DC      A14; A25; A26; A96; D21
IN      LI X; WANG X; ZHU S
PA      (UNIL-C) CONOPCO INC DBA UNILEVER; (UNIL-C) UNILEVER NV; (UNIL-C) UNILEVER PLC
CYC     134
PI      WO 2020094397 A1 20200514 (2020043)* EN 26[0]
:
IPC1    A61K0008-26 [I, A]; A61K0008-28 [I, A]; A61K0008-81 [I, A]; A61K0008-87
[I, A]; A61Q0015-00 [I, A]
AB      WO 2020094397 A1 UPAB: 20200529
NOVELTY - Antiperspirant composition comprises an aqueous dispersion of a
non-thermoplastic polymeric material of particle size 5-5000 nm, a
:
```

SET AUD ON でヒットしなかったタームの集合が作成された

C TRANSFER コマンド

検索例 2

※ ヒットしなかった特許番号は CPlus ファイルで表示する.

=> **FILE CAPLUS** ← CPlus ファイルに入る

=> **S L7 AND L2** ← ヒットしなかったタームを検索
ALL TERMS IN L7 RETRIEVED.
L10 8 L9 AND L2

=> **D 1-2 ALL** ← CPlus ファイルで表示

L10 ANSWER 1 OF 8 CAPLUS COPYRIGHT 2020 ACS on STN
PatentPak PDF | PatentPak PDF+ | PatentPak Interactive

AN 2017:1706063 CAPLUS Full-text

DN 167:543588

ED Entered STN: 26 Oct 2017

TI Process for producing small droplet cosmetic emulsions at low pressure

IN Lang, David John; Quan, Congling

PA Unilever PLC, UK; Unilever N.V.; Unilever PLC

SO PCT Int. Appl., 20pp.

CODEN: PIXXD2

DT Patent

LA English

CLMN 2

CC 62-4 (Essential Oils and Cosmetics)

FAN.CNT 1

PPPI

PATENT NO.	KIND	DATE	LANGUAGE	PatentPak
WO 2017182265	A1	20171026	English	PDF PDF+ Interactive
CA 3019865	A1	20171026	English	PDF
CN 108883037	A	20181123	Chinese	PDF

AB The present invention relates to novel process for making oil-in-water cosmetic nanoemulsions. The oil phase contains oil selected from the group consisting of triglyceride oil and/or petrolatum and a C8 to C16 fatty acid just be added during prepn.; and the aq. phase contains specific N-acyl derivs. of carboxylic amino acid as primary emulsifier.

※ ヒットしなかった特許番号のみを確認する場合は L4 のタームを表示すればよい

=> **D L7 1-** ← L7 のタームを表示

L7 QUE TERMS FROM L5 WITH NO HITS: 11 TERMS

TERM # TERMS

1 AR61990/PN
2 AR61991/PN
3 AR61992/PN
:
11 MX2018012796/PN
***** END OF L7 *****

DISPLAY コマンドでは、抽出オプション
(WITH “ “ など) も利用することができる

【従量制の方】
ターム数 (特許番号数)
が多いときは、高額な検
索語料が課金されるの
で、HCAplus ファイルがよ
い



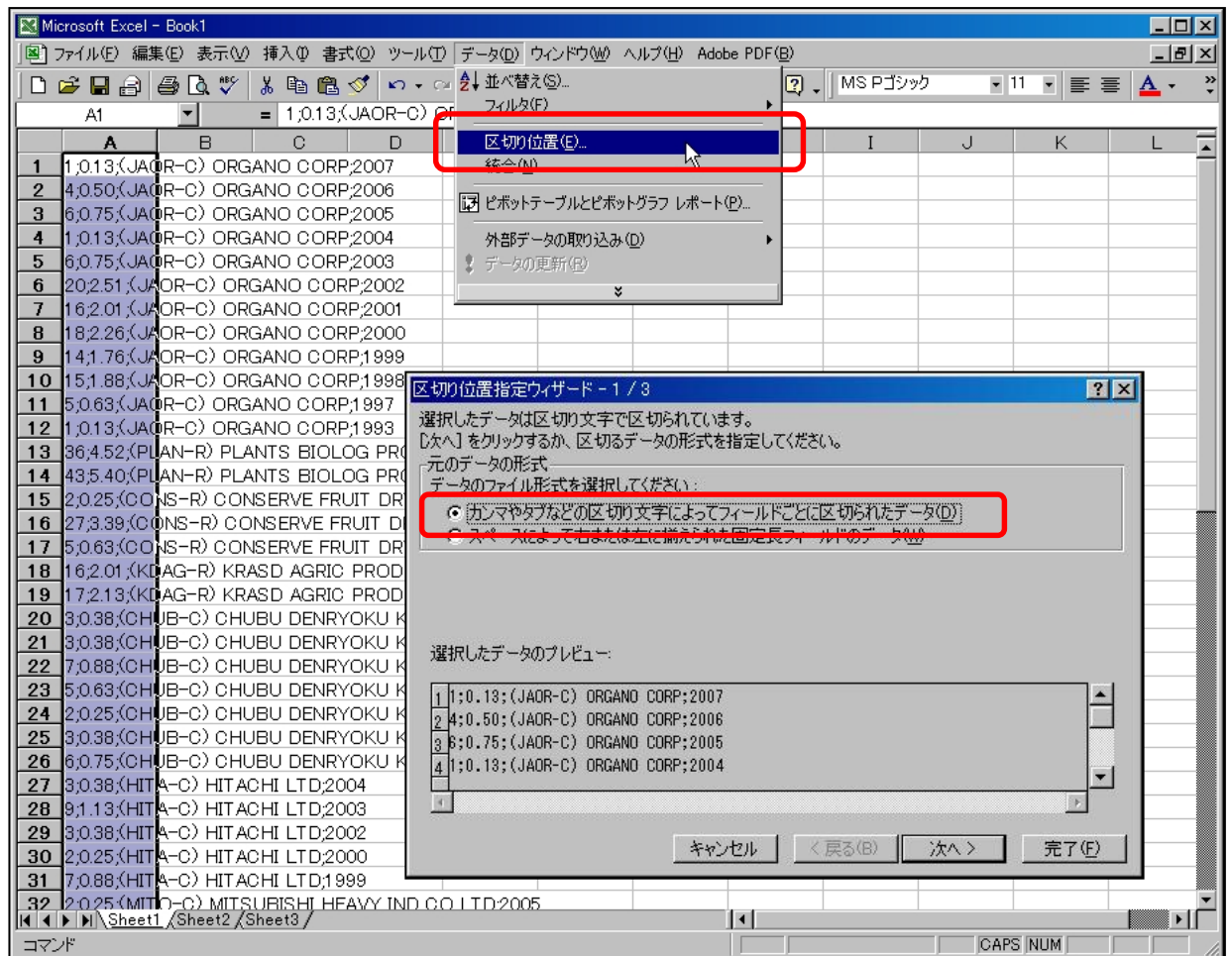
APPENDIX

APPENDIX

Excel でのグラフの作成方法

- TABULATE DELIM コマンドで作成したデリミタ形式のデータは、Excel でグラフを作成することができる。

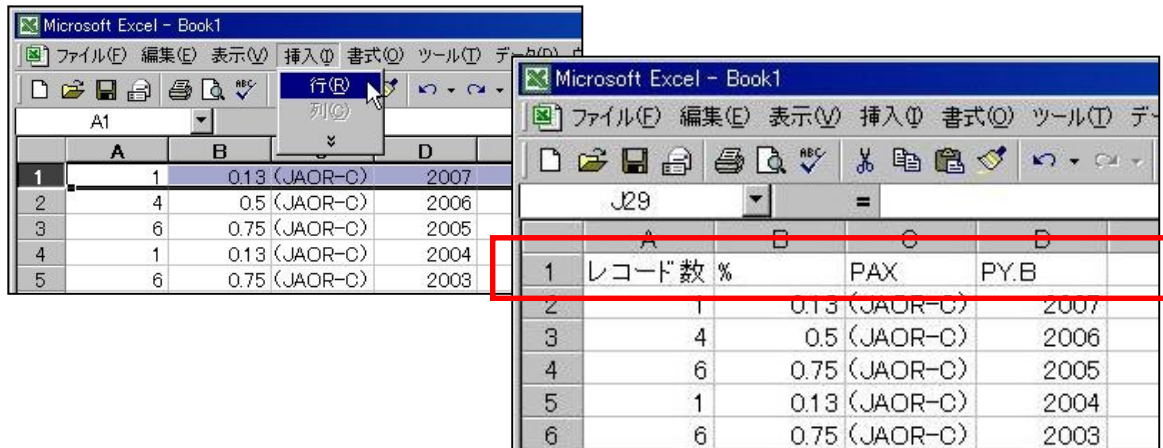
- ① Excel を起動したのち、デリミタ形式のデータをコピーし、Excel のシートに貼り付ける
- ② データメニューから区切り位置を選択し、セミコロンを指定する。



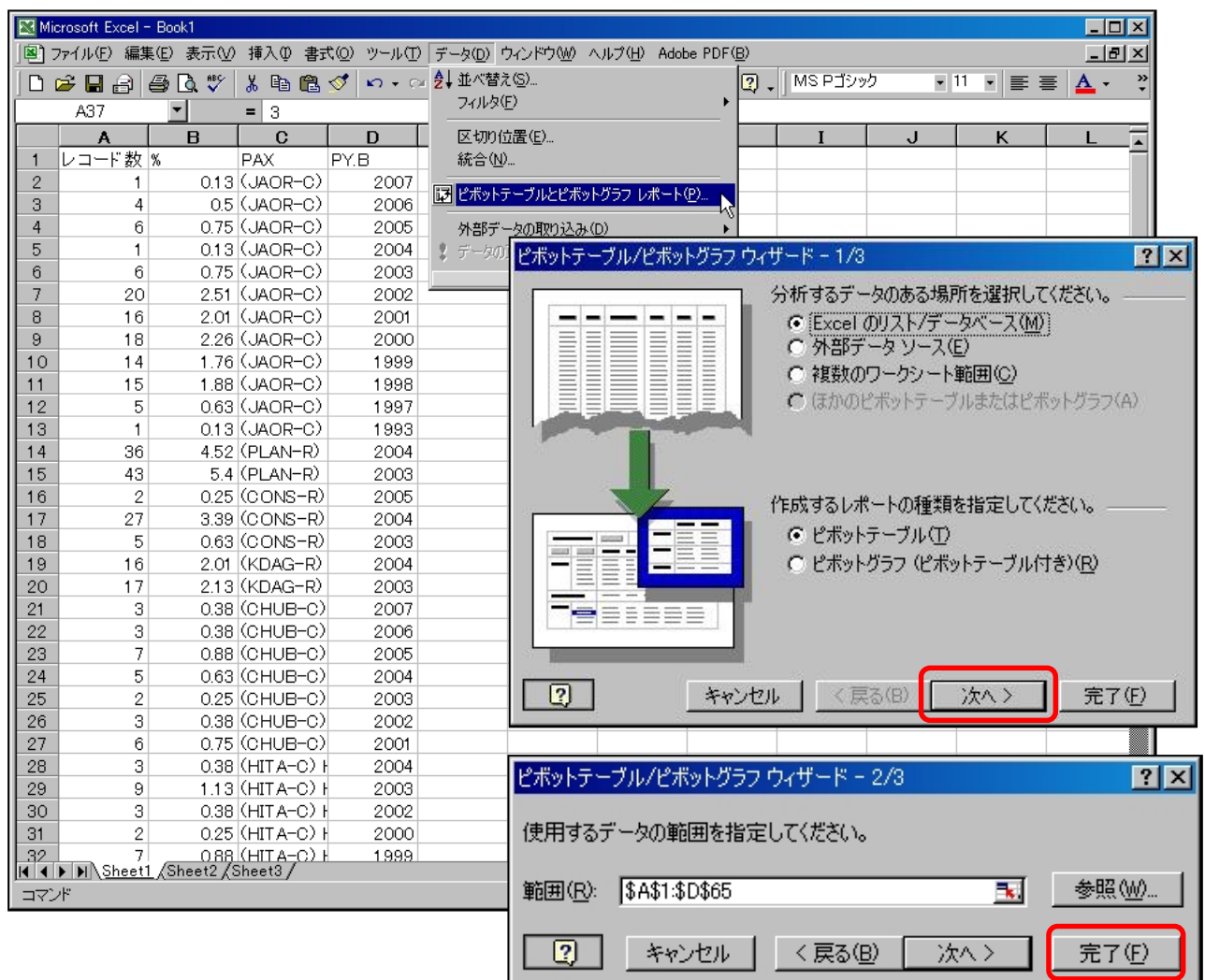
APPENDIX

Excel でのグラフの作成方法

- ③ 一行目のところにカーソルを合わせ、挿入メニューから行を選択し、1 行挿入する。各データ項目名（ここでは、レコード数、%, PAX, PY.B）を入力する。



- ④ データメニューのピボットテーブルとピボットグラフを選択し、指示に従う。

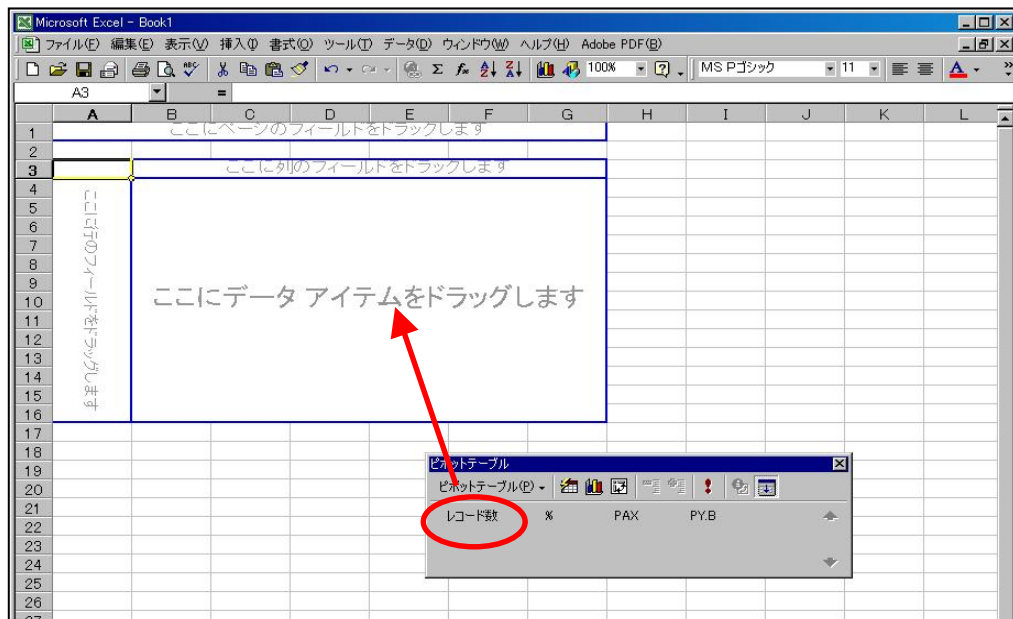
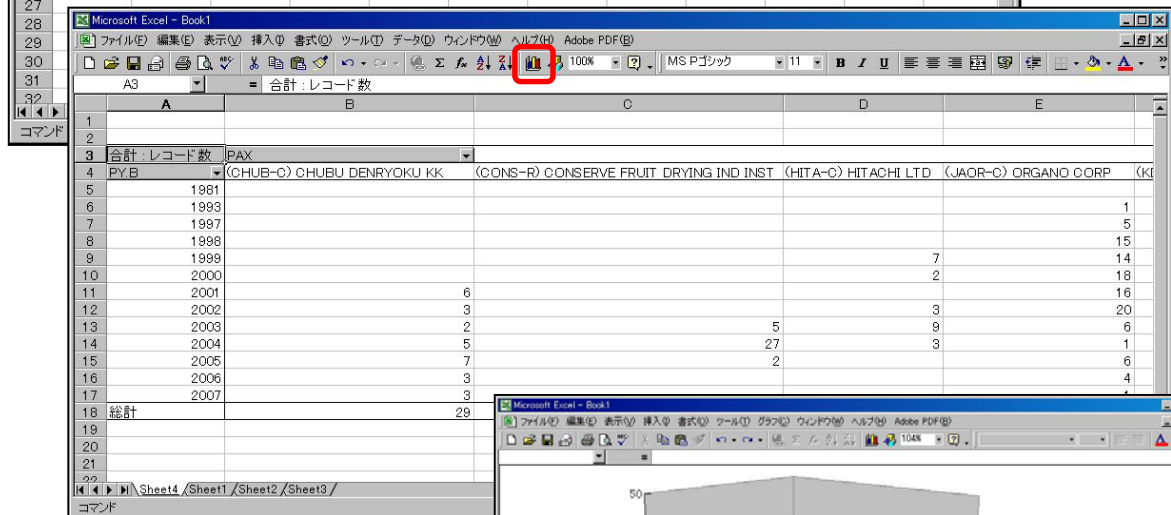


APPENDIX

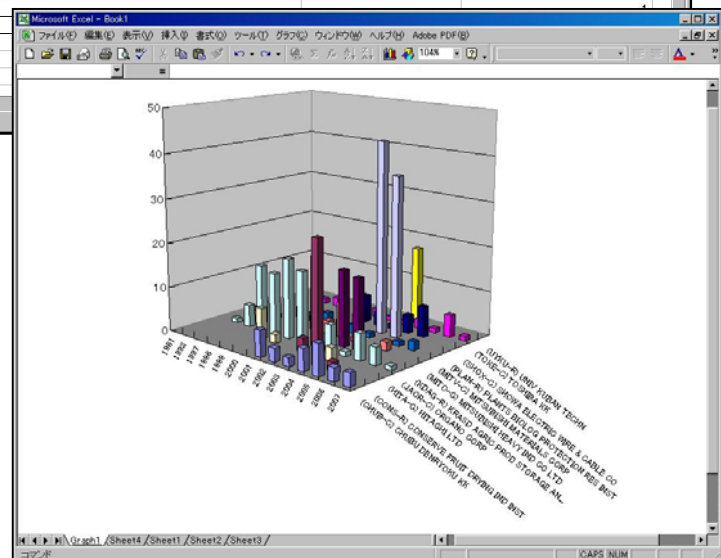
Excel でのグラフの作成方法

- ⑤ 表、グラフを作成したときの横軸、縦軸になる項目を指定する。ここでは、縦軸に PY.B, 横軸に PAX, 中央の部分にレコード数を指示する。

ピボット形式の表が作成できたら（中央の図） をクリックしてウィザードに従うとグラフが作成できる。

合計: レコード数	PAX	PY.B	レコード数
1981	(CHUB-C) CHUBU DENRYOKU KK	(CONS-R) CONSERVE FRUIT DRYING IND INST	1
1983		(HITA-C) HITACHI LTD	5
1987		(JAOR-C) ORGANO CORP	15
1988			14
1989			18
2000			16
2001			20
2002			6
2003			1
2004			6
2005			4
2006			
2007			
総計			29



APPENDIX

複数フィールドに対する二次的 SELECT/ANALYZE

- 複数フィールド（項目）を ANALYZE した結果に対して、一つのフィールド（項目）を取り出す場合には、“WITH” オプションを利用するとよい。

=> FILE WPINDEX

=> SET PLU ON; SET ABB ON; SET ICFORMAT ON

=> S SUPERCRIT?(1W) (WATER OR AQUEOUS)

L1 798 SUPERCRITIC?(W) (WATER OR AQUEOUS)

=> ANA L1 PN IPC PAX PY.B

L2 ANALYZE L1 1- PN IPC PAX PY.B : 3184 TERMS

二次的 SELECT/ANALYZE は
どのファイルでも実行可能なので
接続時間料無料のファイルで
行うとよい

=> FILE ZCA

← 接続時間料無料のファイルに入る

=> SEL IPC

'IPC' IS NOT VALID HERE

For an explanation, enter "HELP SELECT".

=> ANA IPC

'IPC' IS NOT VALID HERE

For an explanation, enter "HELP ANALYZE".

二次的 SELECT/ANALYZE
では、フィールド（項目）を選ぶ
ことができない

=> D 1-30 DET

← 検索フィールドつき (DET) で表示する

L2 ANALYZE L1 1- PN IPC PAX PY.B : 3184 TERMS

TERM #	# OCC	# DOC	% DOC	PN IPC PAX PY.B
1	535	247	30.95	B01J0003-00/IPC
2	306	153	19.17	C12P0001-02/IPC
3	235	110	13.78	B09B0003-00/IPC
4	202	99	12.41	C02F0001-74/IPC
5	162	77	9.65	B01J0003-02/IPC
6	144	144	18.05	2003/PY.B
7	141	141	17.67	2004/PY.B
8	139	103	12.91	C02F0011-06/IPC
9	134	64	8.02	B01J0003-04/IPC
10	130	62	7.77	B01J0019-00/IPC
11	115	74	9.27	A62D0003-00/IPC
12	107	107	13.41	(JAOR-C) ORGANO CORP/PAX
13	106	54	6.77	A23L0001-06/IPC
14	101	88	11.03	C02F0011-08/IPC
15	90	45	5.64	A01N0063-04/IPC

この検索フィールドを利用して
目的のフィールド（項目）のみ
を抽出する



APPENDIX

複数フィールドに対する二次的 SELECT/ANALYZE

=> **ANA L2 WITH "IPC"** ← IPC が付与されたタームを解析する（無料）
 L3 ANALYZE L2 1- WITH "IPC" : 1295 TERMS

WITH "" オプションを利用して目的の検索フィールドが
付与されているタームのみを指定する

=> **D 1-20**
 L3 ANALYZE L2 1- WITH "IPC" : 1295 TERMS

TERM #	# OCC	# DOC	% DOC	PN	IPC	PAX	PY.B
1	535	247	30.95	B01J0003-00			
2	306	153	19.17	C12P0001-02			
3	235	110	13.78	B09B0003-00			
4	202	99	12.41	C02F0001-74			
5	162	77	9.65	B01J0003-02			
6	139	103	12.91	C02F0011-06			
7	134	64	8.02	B01J0003-04			
8	130	62	7.77	B01J0019-00			
9	115	74	9.27	A62D0003-00			
10	106	54	6.77	A23L0001-06			
11	101	88	11.03	C02F0011-08			
12	90	45	5.64	A01N0063-04			
13	86	38	4.76	C02F0001-72			
14	63	61	7.64	A62D0101-22			
15	63	52	6.52	C08J0011-00			
16	62	31	3.88	A01F0025-00			
17	59	57	7.14	A62D0003-20			
18	57	37	4.64	C10G0001-00			
19	48	24	3.01	A01N0025-32			
20	48	24	3.01	C12P0007-64			

IPC のみを抽出することができた

=> **SEL L2 WITH "IPC"** ← IPC が付与されたタームを抽出する（無料）
 E# TABLE SIZE LIMIT REACHED
 E1 THROUGH E999 ASSIGNED

=> **D SEL E1-E20**

E1	535	B01J0003-00/IPC
E2	306	C12P0001-02/IPC
E3	235	B09B0003-00/IPC
E4	202	C02F0001-74/IPC
E5	162	B01J0003-02/IPC
E6	139	C02F0011-06/IPC
E7	134	B01J0003-04/IPC
E8	130	B01J0019-00/IPC
E9	115	A62D0003-00/IPC
E10	106	A23L0001-06/IPC
E11	101	C02F0011-08/IPC
E12	90	A01N0063-04/IPC
E13	86	C02F0001-72/IPC
E14	63	A62D0101-22/IPC
E15	63	C08J0011-00/IPC
E16	62	A01F0025-00/IPC
E17	59	A62D0003-20/IPC
E18	57	C10G0001-00/IPC
E19	48	A01N0025-32/IPC
E20	48	C12P0007-64/IPC

システム制限に達した警告
 全ての IPC が抽出できていない

APPENDIX

システム制限に達した場合（SELECT/ANALYZE コマンド）

- SELECT コマンドでシステム制限に達した場合には、ANALYZE/TRANSFER コマンドを利用する

- ANALYZE コマンドでシステム制限に達した場合、統計解析が目的の場合には、回答件数あるいは 抽出するタームの種類を減らして再度行う。
ただし、単に回答の一部の情報を表示させる目的の場合には、止まった回答番号より後の番号を再度 ANALYZE するとよい。

=> FILE WPINDEX

=> S FUEL CELL

L1 44013 FUEL CELL
(FUEL(W) CELL)

=> ANA L1 PN

ANALYZE IS APPROXIMATELY 6% COMPLETE

ANALYZE IS APPROXIMATELY 6% COMPLETE

:
ANALYZE IS APPROXIMATELY 62% COMPLETE

1-27404 番目の回答までで
システム制限に達した警告

TERM LIMIT EXCEEDED: 27404 ANSWERS PROCESSED

L2 ANALYZE L1 1- PN : 50847 TERMS

=> D 1- ALP

L2 ANALYZE L1 1- PN : 50847 TERMS

システム制限は 50,000 タームだが
若干のフレキシビリティがある。
なお、必ず 50,847 タームまで解析
できるわけではない

TERM # # OCC # DOC % DOC PN

1	1	1	0.01	AR202631
2	1	1	0.01	AR203256
3	1	1	0.01	AR203364
4	1	1	0.01	AT2000001811
5	1	1	0.01	AT200000

処理が止まった次の番号を指定する

=> ANA L1 27405- PN

ANALYZE IS APPROXIMATELY 17% COMPLETE

ANALYZE IS APPROXIMATELY 18% COMPLETE

:
ANALYZE IS APPROXIMATELY 97% COMPLETE

L3 ANALYZE L1 27405- PN : 45081 TERMS

=> D 1- WITH "JP"

L3 ANALYZE L1 27405- PN : 45081 TERMS

TERM # # OCC # DOC % DOC PN

16181	1	1	0.01	JP01003960
16182	1	1	0.01	JP01004232
16183	1	1	0.01	JP01004301 B
16184	1	1	0.01	JP01004962 B
16185	1	1	0.01	JP01005974
16186	1	1	0.01	JP01006127 B

APPENDIX

システム制限に達した場合 (TRANSFER コマンド)

- TRANSFER コマンドで、システム制限に達してしまった場合には、止まった回答以降を指定して再度 TRANSFER するとよい。

=> FILE CAPLUS

=> SET PLU ON; SET ABB ON

=> S JP/PC (P) 2007/PY AND PROTEIN SEQUENCE
L1 1237 JP/PC (P) 2007/PY AND PROTEIN SEQUENCE

=> FILE ZREGISTRY

=> TRA L1 RN ← CAS 登録番号を抽出・検索

1-727 番目の回答までで
システム制限に達した

TERM LIMIT EXCEEDED: 727 ANSWERS PROCESSED

L2 TRANSFER L1 1- RN : 51455 TERMS

SEARCH OF L2 IS APPROXIMATELY 5% COMPLETE
SEARCH OF L2 IS APPROXIMATELY 11% COMPLETE
SEARCH OF L2 IS APPROXIMATELY 16% COMPLETE
SEARCH OF L2 IS APPROXIMATELY 22% COMPLETE
SEARCH OF L2 IS APPROXIMATELY 27% COMPLETE
SEARCH OF L2 IS APPROXIMATELY 33% COMPLETE
SEARCH OF L2 IS APPROXIMATELY 39% COMPLETE
SEARCH OF L2 IS APPROXIMATELY 44% COMPLETE
SEARCH OF L2 IS APPROXIMATELY 50% COMPLETE
SEARCH OF L2 IS APPROXIMATELY 56% COMPLETE
SEARCH OF L2 IS APPROXIMATELY 61% COMPLETE
SEARCH OF L2 IS APPROXIMATELY 67% COMPLETE
SEARCH OF L2 IS APPROXIMATELY 72% COMPLETE
SEARCH OF L2 IS APPROXIMATELY 78% COMPLETE
SEARCH OF L2 IS APPROXIMATELY 83% COMPLETE
SEARCH OF L2 IS APPROXIMATELY 89% COMPLETE
SEARCH OF L2 IS APPROXIMATELY 94% COMPLETE

システム制限は 50,000 タームだが
若干のフレキシビリティがある。
なお、必ず 51,455 タームまで解析
できるわけではない

L3 51455 L2

ALL TERMS IN L2 RETRIEVED.

処理が止まった次の番号を指定する

=> TRA L1 728- RN ← 728 番目以降の回答の CAS 登録番号を抽出・検索

L4 TRANSFER L1 728- RN : 30690 TERMS

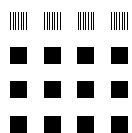
SEARCH OF L4 IS APPROXIMATELY 9% COMPLETE
SEARCH OF L4 IS APPROXIMATELY 18% COMPLETE
SEARCH OF L4 IS APPROXIMATELY 27% COMPLETE
SEARCH OF L4 IS APPROXIMATELY 37% COMPLETE
SEARCH OF L4 IS APPROXIMATELY 46% COMPLETE
SEARCH OF L4 IS APPROXIMATELY 56% COMPLETE
SEARCH OF L4 IS APPROXIMATELY 66% COMPLETE
SEARCH OF L4 IS APPROXIMATELY 75% COMPLETE
SEARCH OF L4 IS APPROXIMATELY 85% COMPLETE
SEARCH OF L4 IS APPROXIMATELY 94% COMPLETE

L5 30690 L4

ALL TERMS IN L4 RETRIEVED.

=> S L3 OR L5 ← TRANSFER した回答をまとめる

L6 80157 L3 OR L5



JAICI 社団法人 化学情報協会

情報事業部

〒113-0021 東京都文京区本駒込6-25-4 中居ビル
サービス全般 TEL: 0120-151-462

E-mail: customer@jaici.or.jp

ヘルプデスク TEL: 0120-003-462

E-mail: support@jaici.or.jp

FAX: 03-5978-3600 URL: www.jaici.or.jp